

製品やサービスを供給する企業等への調査(供給側調査):環境経済観測調査

1 試行調査の概要

■調査方法

「環境経済観測調査(試行)」として、郵送調査を実施。

■調査時期

2010年2月5日(金)～2月26日(金)

■調査対象

<母集団>

調査対象の母集団は、東京、大阪及び名古屋証券取引所1部及び2部上場企業2648社及び従業員500人以上の非上場企業・団体4,229社の合計6877社とした。

<抽出手法>

上場企業、非上場企業をそれぞれ売上高順に並べ、上位からスキップ抽出を行った。

<調査対象抽出結果>

東京、大阪及び名古屋証券取引所1部及び2部上場企業1230社、従業員500人以上の非上場企業・団体770社の合計2000社を抽出した。さらに、昨年度の予備的試行調査において調査対象とした企業から重複企業を除いた50社を加え、調査対象は2050社とした。

■調査項目

別添調査票の通り。

2 試行調査の結果

調査票を送付した事業者2050社のうち、返信のあった事業者数は509社(回答率:24.8%)であり、その中から回答拒否の意思表示があった事業者数をのぞいた有効回答事業者数は486社(有効回答率:23.7%)であった。

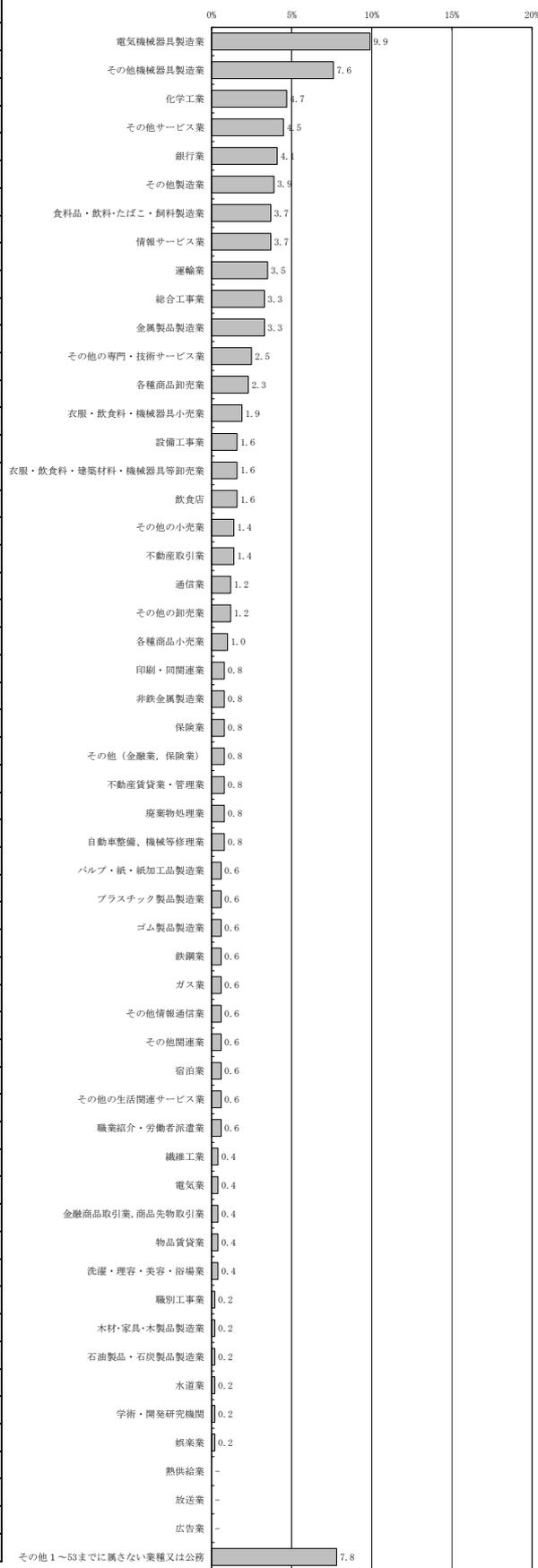
試行調査の単純集計結果及び日銀短観との比較解析結果は以下の通りである。なお、環境ビジネス別に集計を行っている3-4の項目については、全環境ビジネスの延べ数、環境ビジネスA(環境汚染防止)、環境ビジネスB(環境負荷低減技術及び製品)、環境ビジネスC(資源有効利用)の単純集計結果の他、需要側調査での調査対象とした「省エネルギー型家電」「環境配慮型自動車」「高効率給湯器」「太陽光発電システム」について結果を示す。

■単純集計結果

1. 回答企業概要（業種別企業数）[単一回答]

本調査では、「電気機械器具製造業」「その他機械器具製造業」からの回答が多かった。

業種	n	%
総合工事業	16	3.3
職別工事業	1	0.2
設備工事業	8	1.6
食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	18	3.7
繊維工業	2	0.4
木材・家具・木製品製造業	1	0.2
パルプ・紙・紙加工品製造業	3	0.6
印刷・同関連業	4	0.8
化学工業	23	4.7
石油製品・石炭製品製造業	1	0.2
プラスチック製品製造業	3	0.6
ゴム製品製造業	3	0.6
鉄鋼業	3	0.6
非鉄金属製造業	4	0.8
金属製品製造業	16	3.3
電気機械器具製造業	48	9.9
その他機械器具製造業	37	7.6
その他製造業	19	3.9
電気業	2	0.4
ガス業	3	0.6
熱供給業	-	-
水道業	1	0.2
通信業	6	1.2
放送業	-	-
情報サービス業	18	3.7
その他情報通信業	3	0.6
運輸業	17	3.5
その他関連業	3	0.6
各種商品卸売業	11	2.3
衣服・飲食料・建築材料・機械器具等卸売業	8	1.6
その他の卸売業	6	1.2
各種商品小売業	5	1.0
衣服・飲食料・機械器具小売業	9	1.9
その他の小売業	7	1.4
銀行業	20	4.1
金融商品取引業, 商品先物取引業	2	0.4
保険業	4	0.8
その他（金融業, 保険業）	4	0.8
不動産取引業	7	1.4
不動産賃貸業・管理業	4	0.8
物品賃貸業	2	0.4
学術・開発研究機関	1	0.2
広告業	-	-
その他の専門・技術サービス業	12	2.5
宿泊業	3	0.6
飲食店	8	1.6
洗濯・理容・美容・浴場業	2	0.4
娯楽業	1	0.2
その他の生活関連サービス業	3	0.6
廃棄物処理業	4	0.8
自動車整備、機械等修理業	4	0.8
職業紹介・労働者派遣業	3	0.6
その他サービス業	22	4.5
その他1～53までに属さない業種又は公務	38	7.8
無回答	33	6.8
合計	486	100.0



※左表：選択肢順 右図：回答割合順

2. 我が国の環境ビジネス全体について

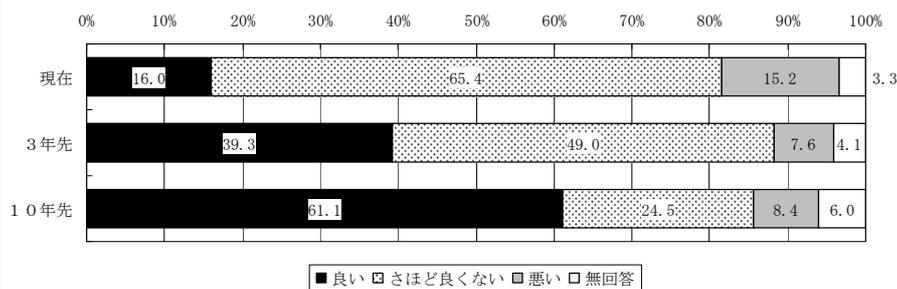
2-1. 我が国の環境ビジネス全体の業況 [単一回答]

我が国の環境ビジネス全体については、現在は「さほど良くない」が最も多く（65.4%）、「良い」と「悪い」はほぼ同じ割合（15%程度）である。

3年先になると「良い」の割合が高まり（39.3%）、10年先では「良い」という回答が半数を超えている（61.1%）。

以上の傾向から、環境ビジネスは今後10年で発展することが期待されていると言える。

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	486	78	318	74	16
3年先	486	191	238	37	20
10年先	486	297	119	41	29
	100.0	16.0	65.4	15.2	3.3
	100.0	39.3	49.0	7.6	4.1
	100.0	61.1	24.5	8.4	6.0



2-2. 現在発展していると考えられる環境ビジネス／今後発展が期待できそうだと思う環境ビジネス [複数回答]

現在発展していると考えられる環境ビジネスとして、「環境配慮型自動車」(25.7%)と回答した割合が最も高く、次に「省エネルギー型家電製品(エコポイント対象)」(23.3%)、「太陽光発電システム」(17.7%)、「廃棄物処理・リサイクル」(17.3%)が続く。

3年先に発展が期待できそうな環境ビジネスとして、「環境配慮型自動車」(34.0%)、「太陽光発電システム」(26.3%)、「省エネルギー及びエネルギー管理」(23.7%)が挙げられる。上位3ビジネスは、現在よりも回答割合が増加しているのに対して、「省エネルギー型家電製品(エコポイント対象)」(3.5%)は回答割合が減っている。

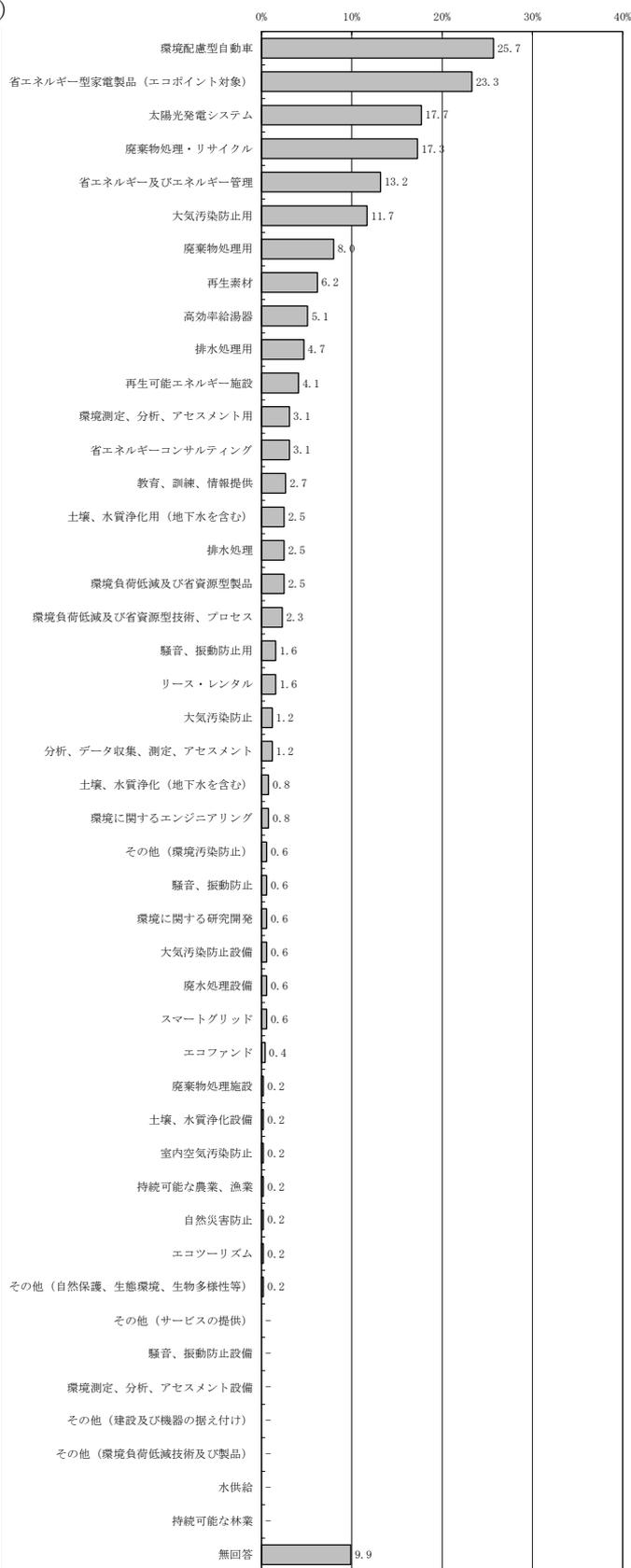
10年先に発展が期待できそうな環境ビジネスとして「環境配慮型自動車」(21.8%)、「太陽光発電システム」(18.5%)、「再生可能エネルギー施設」(18.1%)が挙げられる。また、「省エネルギー及びエネルギー管理」(15.0%)、「スマートグリッド」(9.7%)も相対的に高い割合を占めている。

以上より、今後10年間では、「環境配慮型自動車」が最も期待度が高く、「太陽光発電システム」も期待度が高いことがわかる。現在、発展していると考えられている「省エネルギー型家電製品(エコポイント対象)」については、3年先(3.5%)、10年先(1.9%)の回答割合は、落ち込んでおり、将来的な環境ビジネスとしての期待の程度は低い。「廃棄物処理・リサイクル」については、3年先(7.6%)、10年先(6.8%)の回答割合から、現在ほど期待度は高くないが、将来的にも一定の発展は期待できると考えられている。

2-2. 現在発展していると考える環境ビジネス/今後発展が期待できそうだと思う環境ビジネス [複数回答可]

【現在】 (回答者数=486)

	環境ビジネス分類	回答数	%
A-1	大気汚染防止用	57	11.7
A-2	排水処理用	23	4.7
A-3	廃棄物処理用	39	8
A-4	土壌、水質浄化用（地下水を含む）	12	2.5
A-5	騒音、振動防止用	8	1.6
A-6	環境測定、分析、アセスメント用	15	3.1
A-7	その他（環境汚染防止）	3	0.6
A-8	大気汚染防止	6	1.2
A-9	排水処理	12	2.5
A-10	廃棄物処理・リサイクル	84	17.3
A-11	土壌、水質浄化（地下水を含む）	4	0.8
A-12	騒音、振動防止	3	0.6
A-13	分析、データ収集、測定、アセスメント	6	1.2
A-14	環境に関する研究開発	3	0.6
A-15	環境に関するエンジニアリング	4	0.8
A-16	教育、訓練、情報提供	13	2.7
A-17	その他（サービスの提供）	-	-
A-18	大気汚染防止設備	3	0.6
A-19	廃水処理設備	3	0.6
A-20	廃棄物処理施設	1	0.2
A-21	土壌、水質浄化設備	1	0.2
A-22	騒音、振動防止設備	-	-
A-23	環境測定、分析、アセスメント設備	-	-
A-24	その他（建設及び機器の据え付け）	-	-
B-1	環境負荷低減及び省資源型技術、プロセス	11	2.3
B-2	省エネルギーコンサルティング	15	3.1
B-3	環境負荷低減及び省資源型製品	12	2.5
B-4	環境配慮型自動車	125	25.7
B-5	リース・レンタル	8	1.6
B-6	その他（環境負荷低減技術及び製品）	-	-
C-1	室内空気汚染防止	1	0.2
C-2	水供給	-	-
C-3	再生素材	30	6.2
C-4	再生可能エネルギー施設	20	4.1
C-5	太陽光発電システム	86	17.7
C-6	スマートグリッド	3	0.6
C-7	省エネルギー及びエネルギー管理	64	13.2
C-8	高効率給湯器	25	5.1
C-9	省エネルギー型家電製品（エコポイント対象）	113	23.3
C-10	持続可能な農業、漁業	1	0.2
C-11	持続可能な林業	-	-
C-12	自然災害防止	1	0.2
C-13	エコツーリズム	1	0.2
C-14	エコファンド	2	0.4
C-15	その他（自然保護、生態環境、生物多様性等）	1	0.2
	無回答	48	9.9



※左表：分類順 右図：回答割合順

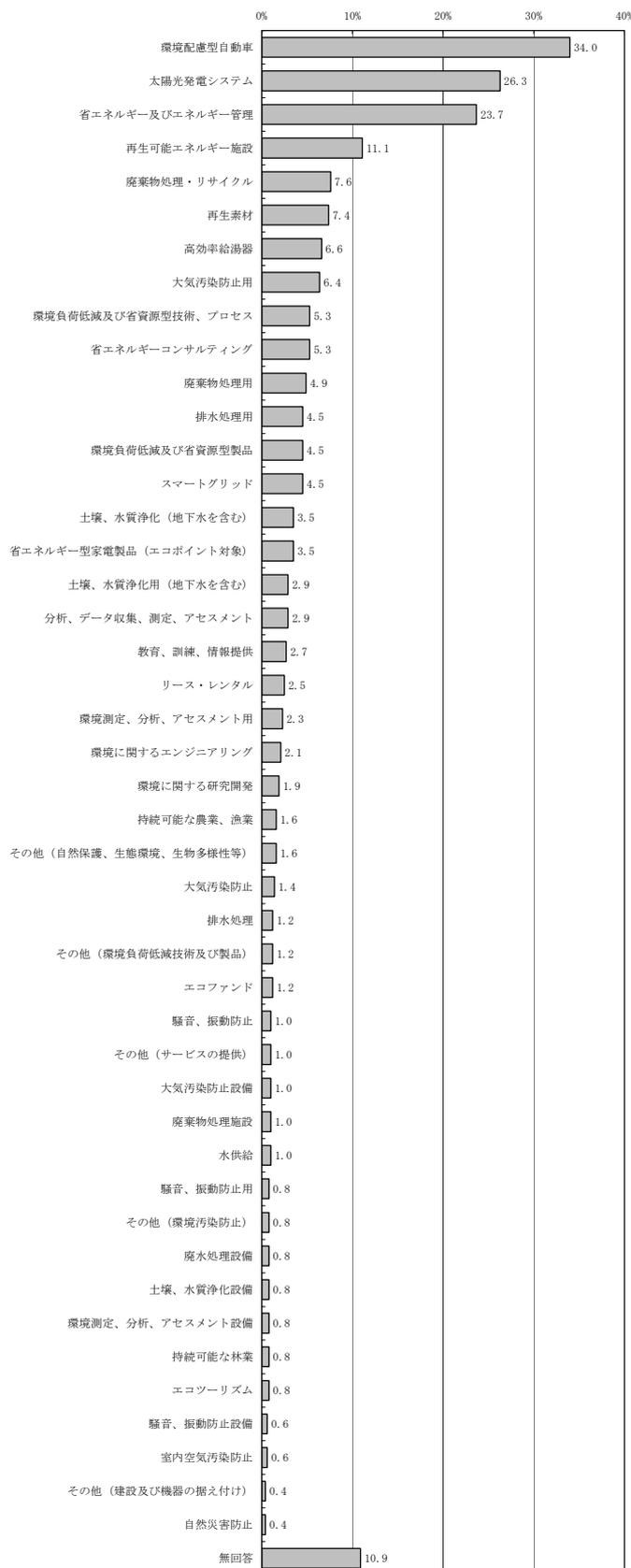
(n=486)

2-2. 現在発展していると考える環境ビジネス/今後発展が期待できそうだと思う環境ビジネス [複数回答可]

【3年先】

(回答者数=486)

	環境ビジネス分類	回答数	%
A-1	大気汚染防止用	31	6.4
A-2	排水処理用	22	4.5
A-3	廃棄物処理用	24	4.9
A-4	土壌、水質浄化用（地下水を含む）	14	2.9
A-5	騒音、振動防止用	4	0.8
A-6	環境測定、分析、アセスメント用	11	2.3
A-7	その他（環境汚染防止）	4	0.8
A-8	大気汚染防止	7	1.4
A-9	排水処理	6	1.2
A-10	廃棄物処理・リサイクル	37	7.6
A-11	土壌、水質浄化（地下水を含む）	17	3.5
A-12	騒音、振動防止	5	1
A-13	分析、データ収集、測定、アセスメント	14	2.9
A-14	環境に関する研究開発	9	1.9
A-15	環境に関するエンジニアリング	10	2.1
A-16	教育、訓練、情報提供	13	2.7
A-17	その他（サービスの提供）	5	1
A-18	大気汚染防止設備	5	1
A-19	廃水処理設備	4	0.8
A-20	廃棄物処理施設	5	1
A-21	土壌、水質浄化設備	4	0.8
A-22	騒音、振動防止設備	3	0.6
A-23	環境測定、分析、アセスメント設備	4	0.8
A-24	その他（建設及び機器の据え付け）	2	0.4
B-1	環境負荷低減及び省資源型技術、プロセス	26	5.3
B-2	省エネルギーコンサルティング	26	5.3
B-3	環境負荷低減及び省資源型製品	22	4.5
B-4	環境配慮型自動車	165	34
B-5	リース・レンタル	12	2.5
B-6	その他（環境負荷低減技術及び製品）	6	1.2
C-1	室内空気汚染防止	3	0.6
C-2	水供給	5	1
C-3	再生素材	36	7.4
C-4	再生可能エネルギー施設	54	11.1
C-5	太陽光発電システム	128	26.3
C-6	スマートグリッド	22	4.5
C-7	省エネルギー及びエネルギー管理	115	23.7
C-8	高効率給湯器	32	6.6
C-9	省エネルギー型家電製品（エコポイント対象）	17	3.5
C-10	持続可能な農業、漁業	8	1.6
C-11	持続可能な林業	4	0.8
C-12	自然災害防止	2	0.4
C-13	エコツーリズム	4	0.8
C-14	エコファンド	6	1.2
C-15	その他（自然保護、生態環境、生物多様性等）	8	1.6
	無回答	53	10.9



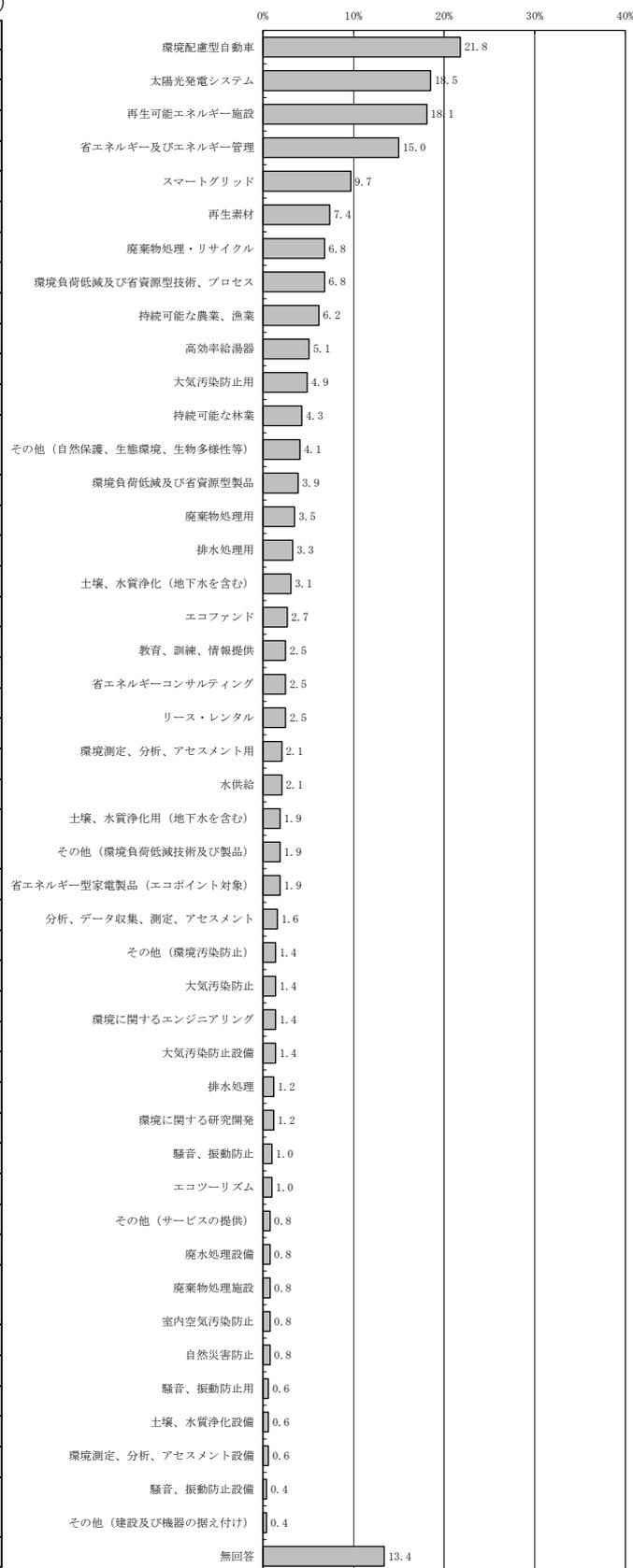
※左表：分類順 右図：回答割合順

(n=486)

2-2. 現在発展していると考える環境ビジネス/今後発展が期待できそうだと思う環境ビジネス [複数回答可]

【10年先】 (回答者数=486)

	環境ビジネス分類	回答数	%
A-1	大気汚染防止用	24	4.9
A-2	排水処理用	16	3.3
A-3	廃棄物処理用	17	3.5
A-4	土壌、水質浄化用（地下水を含む）	9	1.9
A-5	騒音、振動防止用	3	0.6
A-6	環境測定、分析、アセスメント用	10	2.1
A-7	その他（環境汚染防止）	7	1.4
A-8	大気汚染防止	7	1.4
A-9	排水処理	6	1.2
A-10	廃棄物処理・リサイクル	33	6.8
A-11	土壌、水質浄化（地下水を含む）	15	3.1
A-12	騒音、振動防止	5	1
A-13	分析、データ収集、測定、アセスメント	8	1.6
A-14	環境に関する研究開発	6	1.2
A-15	環境に関するエンジニアリング	7	1.4
A-16	教育、訓練、情報提供	12	2.5
A-17	その他（サービスの提供）	4	0.8
A-18	大気汚染防止設備	7	1.4
A-19	廃水処理設備	4	0.8
A-20	廃棄物処理施設	4	0.8
A-21	土壌、水質浄化設備	3	0.6
A-22	騒音、振動防止設備	2	0.4
A-23	環境測定、分析、アセスメント設備	3	0.6
A-24	その他（建設及び機器の据え付け）	2	0.4
B-1	環境負荷低減及び省資源型技術、プロセス	33	6.8
B-2	省エネルギーコンサルティング	12	2.5
B-3	環境負荷低減及び省資源型製品	19	3.9
B-4	環境配慮型自動車	106	21.8
B-5	リース・レンタル	12	2.5
B-6	その他（環境負荷低減技術及び製品）	9	1.9
C-1	室内空気汚染防止	4	0.8
C-2	水供給	10	2.1
C-3	再生素材	36	7.4
C-4	再生可能エネルギー施設	88	18.1
C-5	太陽光発電システム	90	18.5
C-6	スマートグリッド	47	9.7
C-7	省エネルギー及びエネルギー管理	73	15
C-8	高効率給湯器	25	5.1
C-9	省エネルギー型家電製品（エコポイント対象）	9	1.9
C-10	持続可能な農業、漁業	30	6.2
C-11	持続可能な林業	21	4.3
C-12	自然災害防止	4	0.8
C-13	エコツーリズム	5	1
C-14	エコファンド	13	2.7
C-15	その他（自然保護、生態環境、生物多様性等）	20	4.1
	無回答	65	13.4

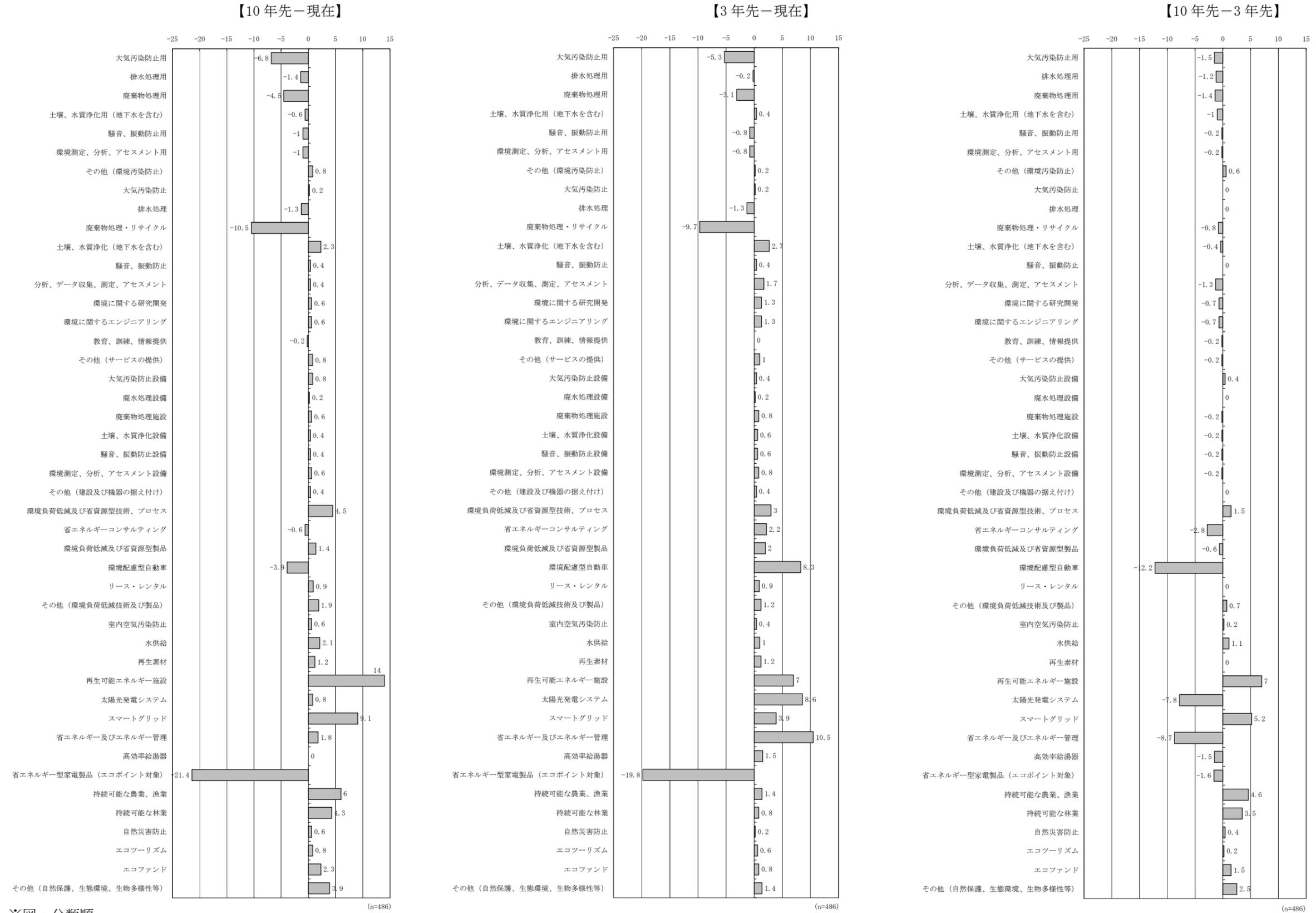


※左表：分類順 右図：回答割合順

(n=486)

2-2. 現在発展していると考えられる環境ビジネス/今後発展が期待できそうだと思う環境ビジネス〔複数回答可〕

各環境ビジネスについて、現在発展していると考えられている割合、3年先に発展が期待されている割合、10年先に発展が期待されている割合の差を数値化し、各環境ビジネスの3年先、10年先に向けた発展の期待度を示す。例えば、【10年先ー現在】において、発展の期待度が高まる傾向にある場合はプラス数値で示され、発展の期待度が落ち込む傾向にある場合はマイナス数値で示される。



※図：分類順

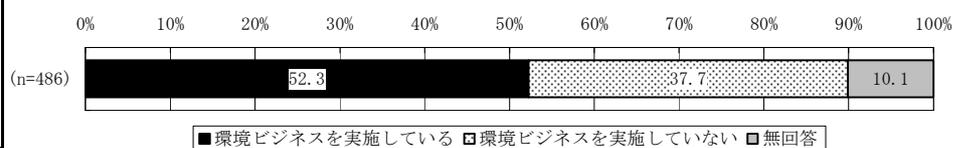
3. 回答企業の環境ビジネスについて

3-1. 現在行っている環境ビジネス（今後行う予定の環境ビジネス） [売上高上位3つまで回答可]

アンケート回答企業のうち、環境ビジネスを実施している（行う予定がある）企業は、52.3%で半数程度であった。

実施している（行う予定）の環境ビジネスとしては、「省エネルギー及びエネルギー管理」を回答した企業が最も多く60社以上、「太陽光発電システム」、「環境負荷低減及び省資源型製品」、「廃棄物処理・リサイクル」、「再生素材」を回答した企業が30社以上である。

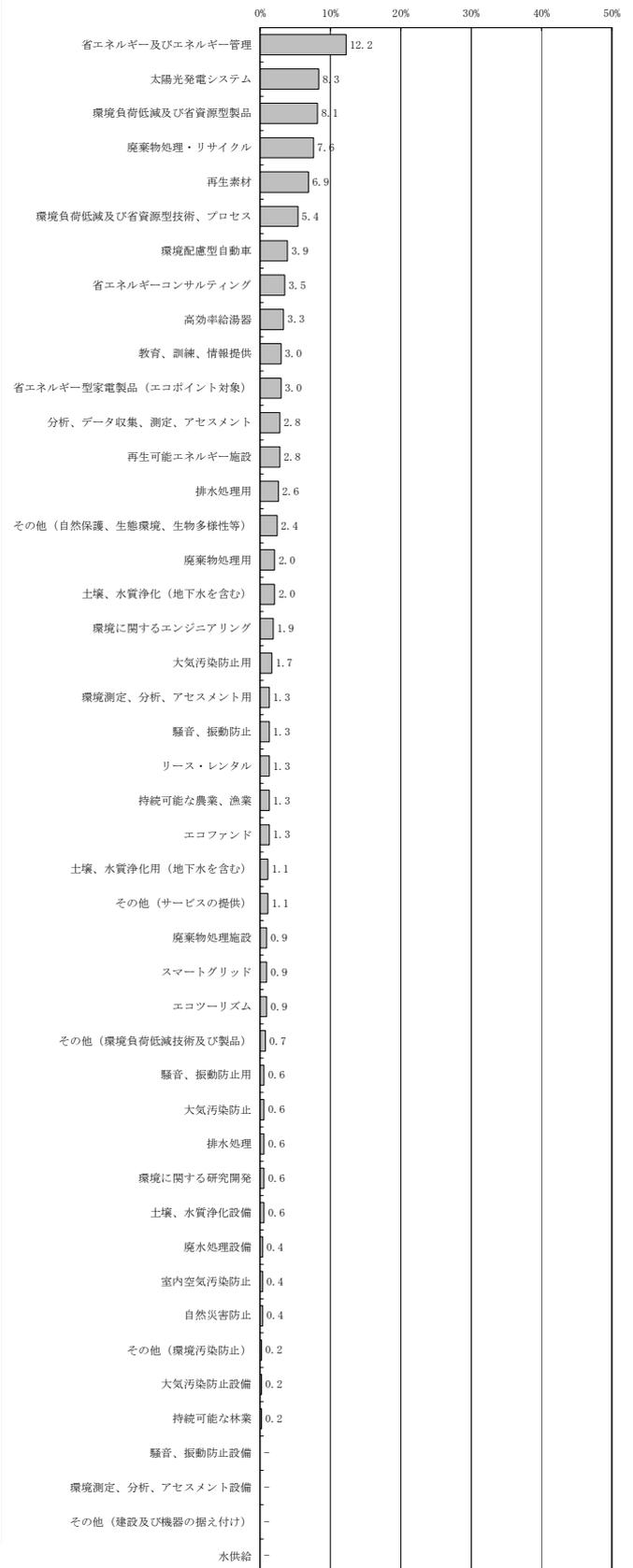
調査数	て環境 いる ビジネス を実施し	て環 い境 ない ビジネス を実施し	無 回 答
486	254	183	49
100.0	52.3	37.7	10.1



3-1. 現在行っている環境ビジネス/今後行う予定の環境ビジネス [売上高上位3つまで回答可]

【環境ビジネス】

	環境ビジネス分類	回答数	%
A-1	大気汚染防止用	9	1.7
A-2	排水処理用	14	2.6
A-3	廃棄物処理用	11	2.0
A-4	土壌、水質浄化用（地下水を含む）	6	1.1
A-5	騒音、振動防止用	3	0.6
A-6	環境測定、分析、アセスメント用	7	1.3
A-7	その他（環境汚染防止）	1	0.2
A-8	大気汚染防止	3	0.6
A-9	排水処理	3	0.6
A-10	廃棄物処理・リサイクル	41	7.6
A-11	土壌、水質浄化（地下水を含む）	11	2.0
A-12	騒音、振動防止	7	1.3
A-13	分析、データ収集、測定、アセスメント	15	2.8
A-14	環境に関する研究開発	3	0.6
A-15	環境に関するエンジニアリング	10	1.9
A-16	教育、訓練、情報提供	16	3.0
A-17	その他（サービスの提供）	6	1.1
A-18	大気汚染防止設備	1	0.2
A-19	廃水処理設備	2	0.4
A-20	廃棄物処理施設	5	0.9
A-21	土壌、水質浄化設備	3	0.6
A-22	騒音、振動防止設備	-	-
A-23	環境測定、分析、アセスメント設備	-	-
A-24	その他（建設及び機器の据え付け）	-	-
B-1	環境負荷低減及び省資源型技術、プロセス	29	5.4
B-2	省エネルギーコンサルティング	19	3.5
B-3	環境負荷低減及び省資源型製品	44	8.1
B-4	環境配慮型自動車	21	3.9
B-5	リース・レンタル	7	1.3
B-6	その他（環境負荷低減技術及び製品）	4	0.7
C-1	室内空気汚染防止	2	0.4
C-2	水供給	-	-
C-3	再生素材	37	6.9
C-4	再生可能エネルギー施設	15	2.8
C-5	太陽光発電システム	45	8.3
C-6	スマートグリッド	5	0.9
C-7	省エネルギー及びエネルギー管理	66	12.2
C-8	高効率給湯器	18	3.3
C-9	省エネルギー型家電製品（エコポイント対象）	16	3.0
C-10	持続可能な農業、漁業	7	1.3
C-11	持続可能な林業	1	0.2
C-12	自然災害防止	2	0.4
C-13	エコツーリズム	5	0.9
C-14	エコファンド	7	1.3
C-15	その他（自然保護、生態環境、生物多様性等）	13	2.4
	回答数	540	100



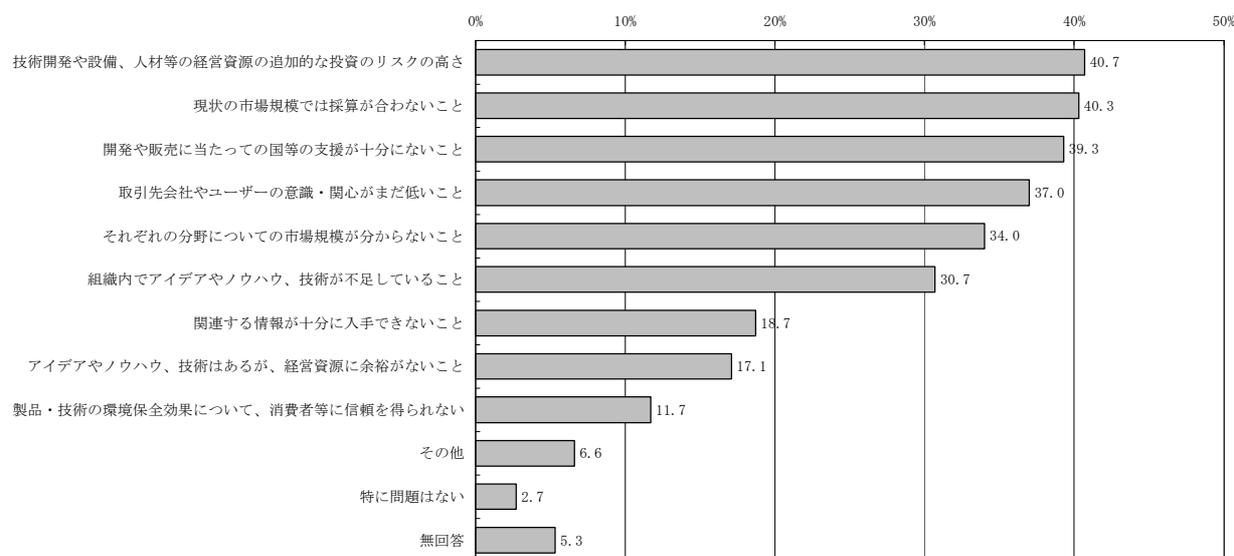
※左表：分類順 右図：回答割合順

(n=540)

3-2. 環境ビジネスの進展における問題 [複数回答可]

環境ビジネスの進展における問題として、最も回答が多かったのが「技術開発や設備、人材等の経営資源の追加的な投資のリスクの高さ」(40.7%)であり、続いて「現状の市場規模では採算が合わないこと」(40.3%)、「開発や販売に当たっての国等の支援が十分でないこと」(39.3%)、「取引先会社やユーザーの意識・関心がまだ低いこと」(37.0%)が挙げられている。

選択肢	回答数	%
技術開発や設備、人材等の経営資源の追加的な投資のリスクの高さ	198	40.7
現状の市場規模では採算が合わないこと	196	40.3
開発や販売に当たっての国等の支援が十分でないこと	191	39.3
取引先会社やユーザーの意識・関心がまだ低いこと	180	37.0
それぞれの分野についての市場規模が分からないこと	165	34.0
組織内でアイデアやノウハウ、技術が不足していること	149	30.7
関連する情報が十分に入手できないこと	91	18.7
アイデアやノウハウ、技術はあるが、経営資源に余裕がないこと	83	17.1
製品・技術の環境保全効果について、消費者等に信頼を得られない	57	11.7
その他	32	6.6
特に問題はない	13	2.7
無回答	26	5.3
回答数	486	100.0

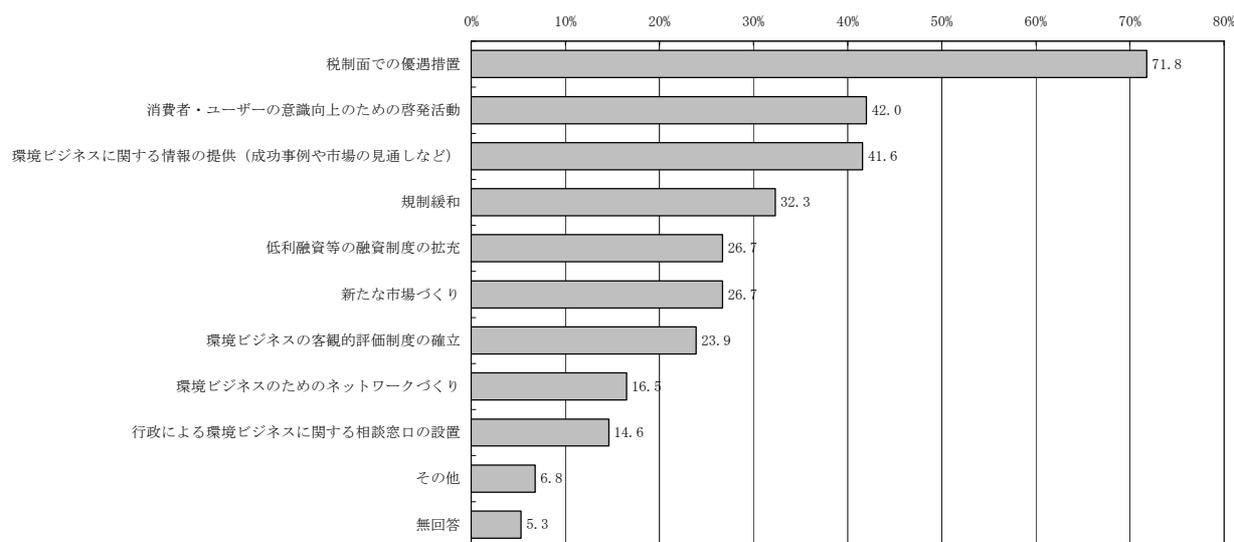


(n=486)

3-3. 環境ビジネスの進展のために行政に望む支援〔複数回答可〕

環境ビジネスの進展のために行政に望む支援として最も回答が多かったのは「税制面での優遇措置」(71.8%)であり、「消費者・ユーザーの意識向上のための啓発活動」(42.0%)、「環境ビジネスに関する情報の提供(成功事例や市場の見通しなど)」(41.6%)が続いている。

選択肢	回答数	%
税制面での優遇措置	349	71.8
消費者・ユーザーの意識向上のための啓発活動	204	42.0
環境ビジネスに関する情報の提供(成功事例や市場の見通しなど)	202	41.6
規制緩和	157	32.3
低利融資等の融資制度の拡充	130	26.7
新たな市場づくり	130	26.7
環境ビジネスの客観的評価制度の確立	116	23.9
環境ビジネスのためのネットワークづくり	80	16.5
行政による環境ビジネスに関する相談窓口の設置	71	14.6
その他	33	6.8
無回答	26	5.3
回答数	486	100.0



(n=486)

※3-4以降の集計について

本調査では、調査回答時期を2009年3月現在としたが、調査を2010年2月に実施しており、誤解的な調査票であったことから、回答時期にずれが生じた可能性があった。

3-4以降については、四半期ごとに実施している日銀短観の結果との比較解析を検討していた項目であり、比較解析を実施するにあたり、本調査で回答した現在の時点を確認したところ、多くの企業が平成22年2月ベースで回答していた。これより、3-4以降のタン寿運集計及び日銀短観との比較解析においては、環境経済観測試行調査において平成22年2月ベースで回答した企業220社、470回答のみを集計・比較対象とした。

3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【全環境ビジネス】

(1) 当該環境ビジネスの業況

環境ビジネスの業況は、現在は「さほど良くない」(60.0%)が最も多く、「良い」と「悪い」は20%弱程度でほぼ同じ割合である。

3年先になると「良い」の割合が高まり(38.9%)、10年先では「良い」という回答が半数を超えている(50.6%)。

以上より、環境ビジネスは、今後10年で発展すると考えられていることがわかる。

(2) 当該環境ビジネスの国内需給

環境ビジネスの国内需給は、現在から10年先まで、「ほぼ均衡」という回答が最も多い。なお、「需要超過」の回答割合は、現在から3年先、10年先にかけて徐々に増加する傾向にある。

(3) 当該環境ビジネスの提供価格

環境ビジネスの提供価格は、現在から3年先にかけては「横ばい」とする回答が過半数を占めているが、「下降」の回答割合は10年先にかけて徐々に増加する傾向にあり、10年先では「下降」(40.2%)が、「横ばい」(40.0%)を上回っている。

(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

環境ビジネスの今後の研究開発の意向は、現在から10年先にかけて「積極的」と「現状維持」がそれぞれ40%前後を占めており、将来にかけて研究開発の意向は大きな変化は見られない。

(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

環境ビジネスの今後の設備投資の意向は、現在から10年先まで「現状維持」という回答が最も多い。なお、「積極的」の回答割合は、現在から10年先にかけて徐々に増加する傾向にある。

(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

環境ビジネスの今後の人員調達の意向は、現在から10年先まで「現状維持」という回答が最も多い。なお、「積極的」の回答割合は、現在から10年先にかけて徐々に増加する傾向にある。

(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

環境ビジネスの資金繰りは、現在から10年先まで「横ばい」という回答が最も多い。なお、「緩和する」という回答割合は、現在から10年先にかけて徐々に増加する傾向にある。

(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

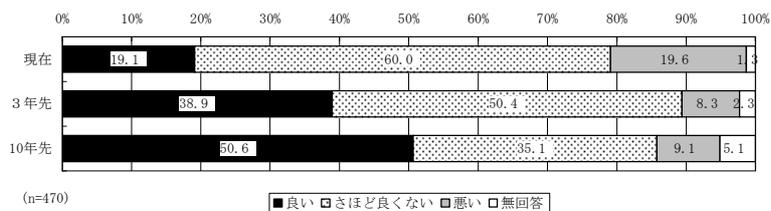
環境ビジネスの海外進出状況は、現在は「現状維持」と「消極的」がそれぞれ40%弱程度を占めている。「積極的」は、現在から10年先にかけて増加する傾向にあり、10年先には、「積極的」と「現状維持」が30%を越え、「消極的」を上回っている。

3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【全環境ビジネス】

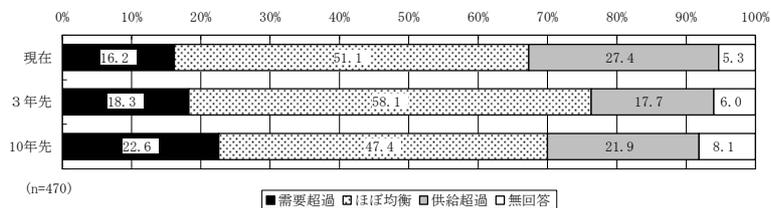
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	470	90	282	92	6
3年前	470	183	237	39	11
10年前	470	238	165	43	24
	100.0	19.1	60.0	19.6	1.3
	100.0	38.9	50.4	8.3	2.3
	100.0	50.6	35.1	9.1	5.1



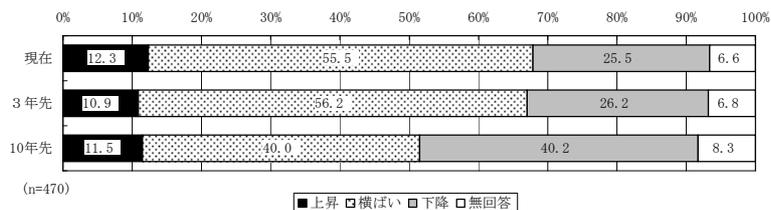
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	470	76	240	129	25
3年前	470	86	273	83	28
10年前	470	106	223	103	38
	100.0	16.2	51.1	27.4	5.3
	100.0	18.3	58.1	17.7	6.0
	100.0	22.6	47.4	21.9	8.1



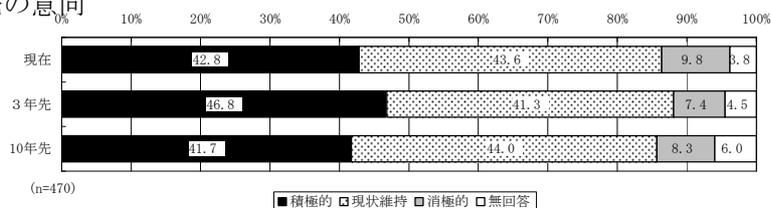
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	470	58	261	120	31
3年前	470	51	264	123	32
10年前	470	54	188	189	39
	100.0	12.3	55.5	25.5	6.6
	100.0	10.9	56.2	26.2	6.8
	100.0	11.5	40.0	40.2	8.3



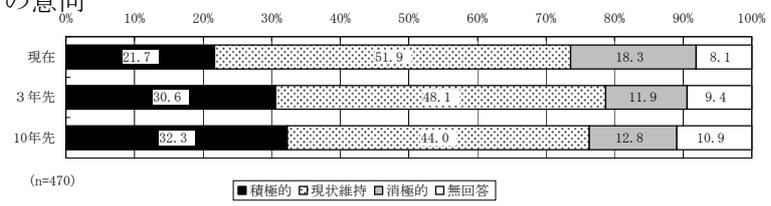
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	470	201	205	46	18
3年前	470	220	194	35	21
10年前	470	196	207	39	28
	100.0	42.8	43.6	9.8	3.8
	100.0	46.8	41.3	7.4	4.5
	100.0	41.7	44.0	8.3	6.0



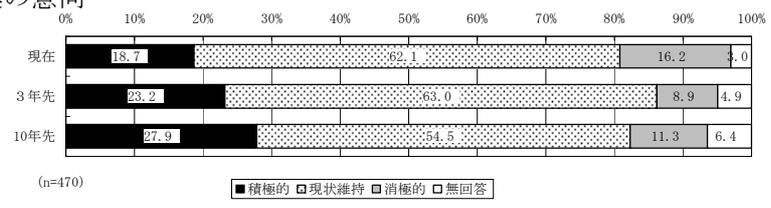
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	470	102	244	86	38
3年前	470	144	226	56	44
10年前	470	152	207	60	51
	100.0	21.7	51.9	18.3	8.1
	100.0	30.6	48.1	11.9	9.4
	100.0	32.3	44.0	12.8	10.9



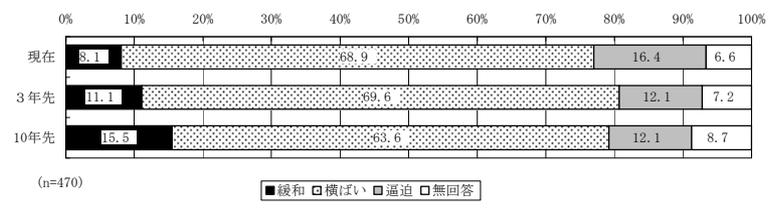
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	470	88	292	76	14
3年前	470	109	296	42	23
10年前	470	131	256	53	30
	100.0	18.7	62.1	16.2	3.0
	100.0	23.2	63.0	8.9	4.9
	100.0	27.9	54.5	11.3	6.4



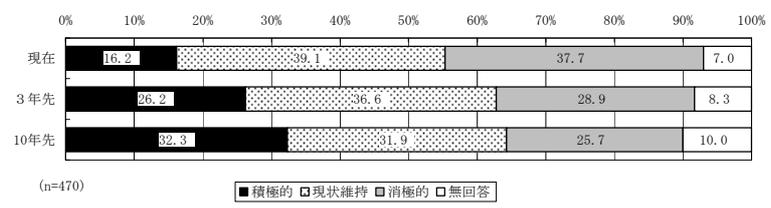
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	470	38	324	77	31
3年前	470	52	327	57	34
10年前	470	73	299	57	41
	100.0	8.1	68.9	16.4	6.6
	100.0	11.1	69.6	12.1	7.2
	100.0	15.5	63.6	12.1	8.7



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	470	76	184	177	33
3年前	470	123	172	136	39
10年前	470	152	150	121	47
	100.0	16.2	39.1	37.7	7.0
	100.0	26.2	36.6	28.9	8.3
	100.0	32.3	31.9	25.7	10.0



3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

- 【A】：【環境ビジネス A】 環境汚染防止
- 【B】：【環境ビジネス B】 環境負荷低減技術及び製品
- 【C】：【環境ビジネス C】 資源有効利用

(1) 当該環境ビジネスの業況

- 【A】 現在は「さほど良くない」が最も多く、次に「悪い」が続く。3年先には「良い」が増加し、「悪い」を上回る。10年先では「さほど良くない」と「良い」の割合の差が小さくなる。
- 【B】 現在は「さほど良くない」が最も多い。「良い」は増加傾向にあり、10年先には最も多い。
- 【C】 現在は「さほど良くない」が最も多い。「良い」は増加傾向にあり、10年先には最も多い。

(2) 当該環境ビジネスの国内需給

- 【A】【B】【C】 現在から10年先まで「ほぼ均衡」が最も多い。

(3) 当該環境ビジネスの提供価格

- 【A】 現在から10年先まで「横ばい」が最も多く、3年先まで過半数を占める。次に「下降」が多い。
- 【B】 現在から10年先まで「横ばい」が最も多く、3年先まで過半数を占める。
- 【C】 現在から3年先まで「横ばい」が最も多い。「下降」が増加傾向にあり、10年先には最も多く半分近くを占める。

(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

- 【A】 現在から10年先にかけて「現状維持」が最も多く、次に「積極的」が多い。
- 【B】 現在から10年先にかけて「積極的」が最も多く、次に「現状維持」が多い。
- 【C】 現在から10年先にかけて「積極的」が最も多く、次に「現状維持」が多い。

(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

- 【A】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。
- 【B】 現在は「現状維持」が約半数を占めるが、「積極的」が増加傾向にあり、10年先には「積極的」が「現状維持」を上回る。
- 【C】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。「積極的」は増加傾向。

(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

- 【A】【B】【C】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多く、「積極的」は徐々に増加傾向。

(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

- 【A】 現在から10年先まで「横ばい」が70%以上を占める。「緩和」は徐々に増加する傾向。
- 【B】 現在から10年先まで「横ばい」が60%前後を占める。「緩和」は徐々に増加する傾向。
- 【C】 現在から10年先まで「横ばい」が60%前後を占める。「緩和」は徐々に増加する傾向。

(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

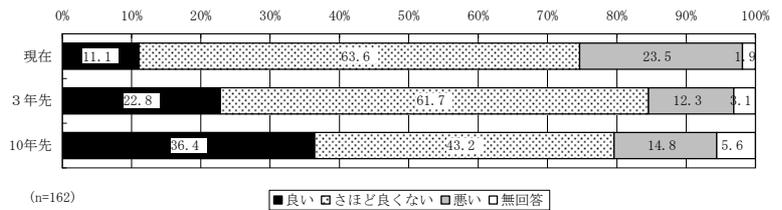
- 【A】 現在は「現状維持」と「消極的」が各40%弱程度を占める。「積極的」は徐々に増加する傾向。
- 【B】 現在は「現状維持」が40%程度で最も多く、「消極的」が30%程度で次に続く。「積極的」は増加傾向にあり、10年先には最も多い。
- 【C】 現在は「現状維持」と「消極的」が各40%弱程度を占める。「積極的」は増加傾向にあり、10年先には「現状維持」と「積極的」がほぼ同じ割合が多い。

3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【環境ビジネス A (環境汚染防止)】

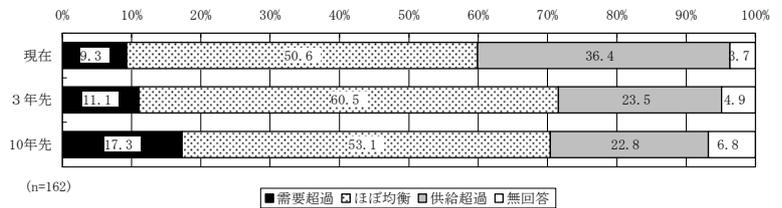
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	162	18	103	38	3
	100.0	11.1	63.6	23.5	1.9
3年前	162	37	100	20	5
	100.0	22.8	61.7	12.3	3.1
10年前	162	59	70	24	9
	100.0	36.4	43.2	14.8	5.6



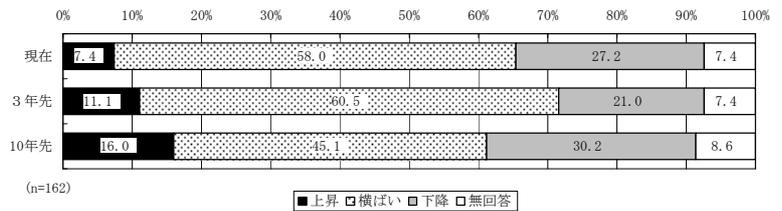
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	162	15	82	59	6
	100.0	9.3	50.6	36.4	3.7
3年前	162	18	98	38	8
	100.0	11.1	60.5	23.5	4.9
10年前	162	28	86	37	11
	100.0	17.3	53.1	22.8	6.8



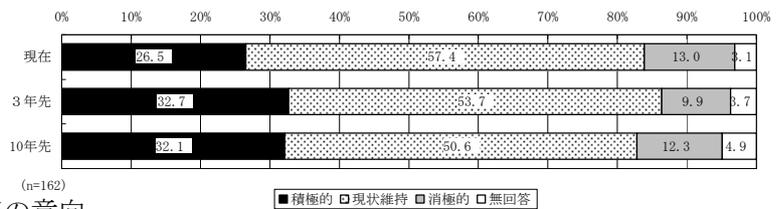
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	162	12	94	44	12
	100.0	7.4	58.0	27.2	7.4
3年前	162	18	98	34	12
	100.0	11.1	60.5	21.0	7.4
10年前	162	26	73	49	14
	100.0	16.0	45.1	30.2	8.6



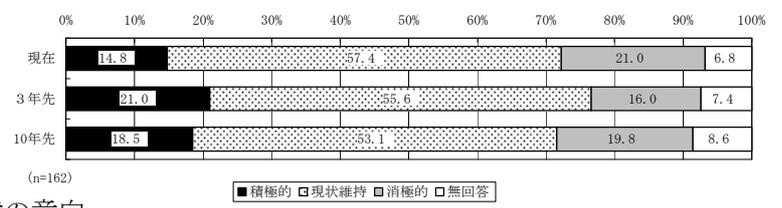
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	162	43	93	21	5
	100.0	26.5	57.4	13.0	3.1
3年前	162	53	87	16	6
	100.0	32.7	53.7	9.9	3.7
10年前	162	52	82	20	8
	100.0	32.1	50.6	12.3	4.9



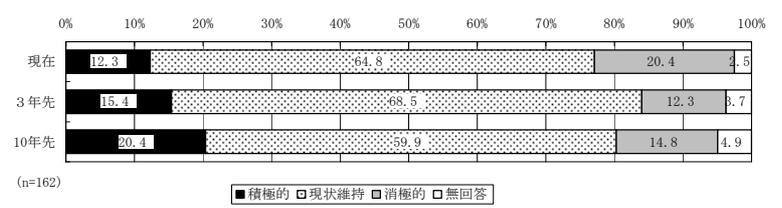
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	162	24	93	34	11
	100.0	14.8	57.4	21.0	6.8
3年前	162	34	90	26	12
	100.0	21.0	55.6	16.0	7.4
10年前	162	30	86	32	14
	100.0	18.5	53.1	19.8	8.6



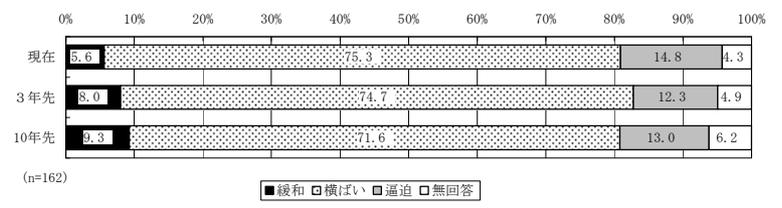
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	162	20	105	33	4
	100.0	12.3	64.8	20.4	2.5
3年前	162	25	111	20	6
	100.0	15.4	68.5	12.3	3.7
10年前	162	33	97	24	8
	100.0	20.4	59.9	14.8	4.9



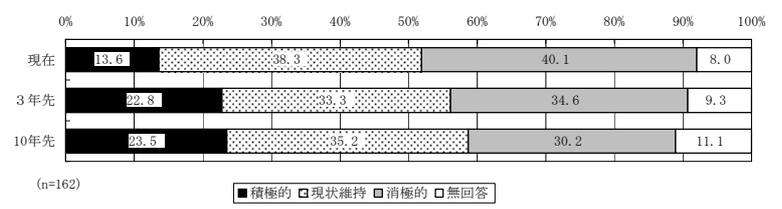
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	162	9	122	24	7
	100.0	5.6	75.3	14.8	4.3
3年前	162	13	121	20	8
	100.0	8.0	74.7	12.3	4.9
10年前	162	15	116	21	10
	100.0	9.3	71.6	13.0	6.2



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	162	22	62	65	13
	100.0	13.6	38.3	40.1	8.0
3年前	162	37	54	56	15
	100.0	22.8	33.3	34.6	9.3
10年前	162	38	57	49	18
	100.0	23.5	35.2	30.2	11.1

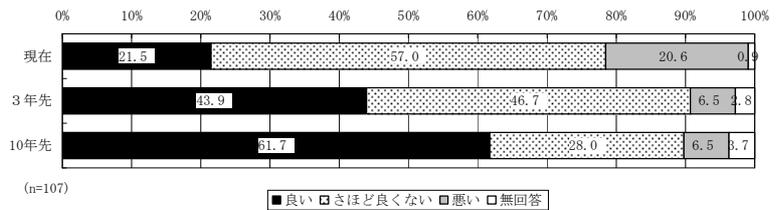


3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【環境ビジネス B (環境負荷低減技術及び製品)】

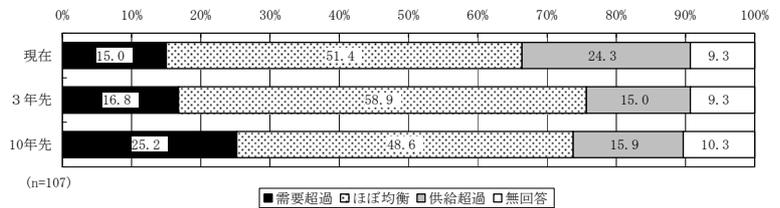
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	107	23	61	22	1
現在	100.0	21.5	57.0	20.6	0.9
3年前	107	47	50	7	3
3年前	100.0	43.9	46.7	6.5	2.8
10年前	107	66	30	7	4
10年前	100.0	61.7	28.0	6.5	3.7



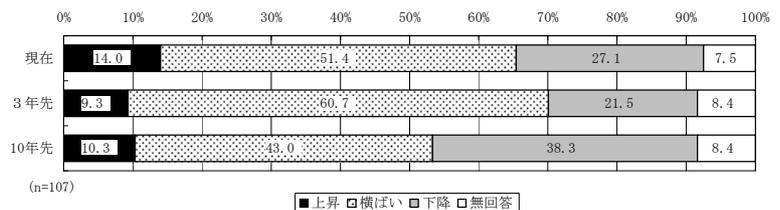
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	107	16	55	26	10
現在	100.0	15.0	51.4	24.3	9.3
3年前	107	18	63	16	10
3年前	100.0	16.8	58.9	15.0	9.3
10年前	107	27	52	17	11
10年前	100.0	25.2	48.6	15.9	10.3



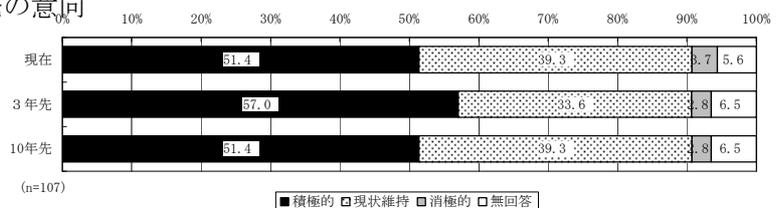
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	107	15	55	29	8
現在	100.0	14.0	51.4	27.1	7.5
3年前	107	10	65	23	9
3年前	100.0	9.3	60.7	21.5	8.4
10年前	107	11	46	41	9
10年前	100.0	10.3	43.0	38.3	8.4



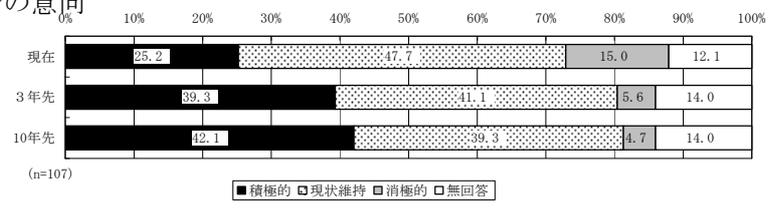
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	107	55	42	4	6
現在	100.0	51.4	39.3	3.7	5.6
3年前	107	61	36	3	7
3年前	100.0	57.0	33.6	2.8	6.5
10年前	107	55	42	3	7
10年前	100.0	51.4	39.3	2.8	6.5



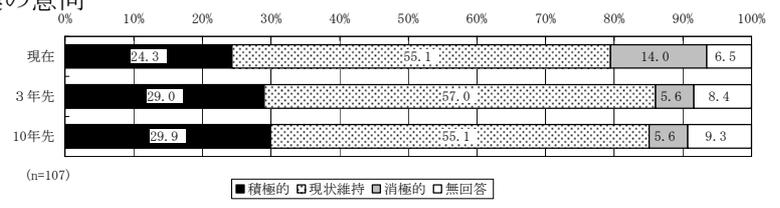
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	107	27	51	16	13
現在	100.0	25.2	47.7	15.0	12.1
3年前	107	42	44	6	15
3年前	100.0	39.3	41.1	5.6	14.0
10年前	107	45	42	5	15
10年前	100.0	42.1	39.3	4.7	14.0



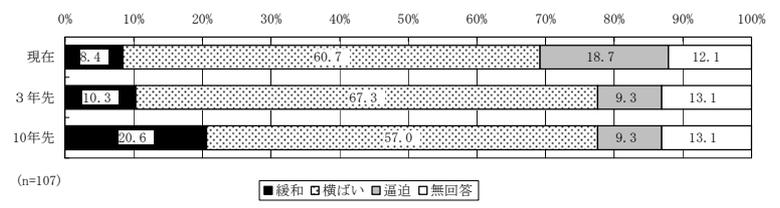
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	107	26	59	15	7
現在	100.0	24.3	55.1	14.0	6.5
3年前	107	31	61	6	9
3年前	100.0	29.0	57.0	5.6	8.4
10年前	107	32	59	6	10
10年前	100.0	29.9	55.1	5.6	9.3



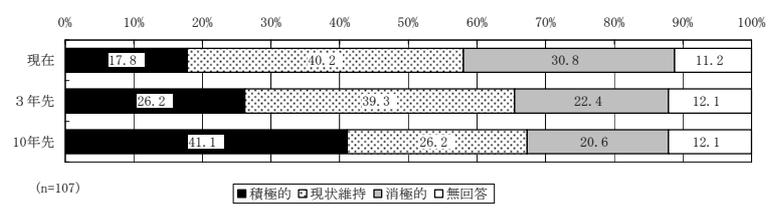
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	107	9	65	20	13
現在	100.0	8.4	60.7	18.7	12.1
3年前	107	11	72	10	14
3年前	100.0	10.3	67.3	9.3	13.1
10年前	107	22	61	10	14
10年前	100.0	20.6	57.0	9.3	13.1



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	107	19	43	33	12
現在	100.0	17.8	40.2	30.8	11.2
3年前	107	28	42	24	13
3年前	100.0	26.2	39.3	22.4	12.1
10年前	107	44	28	22	13
10年前	100.0	41.1	26.2	20.6	12.1

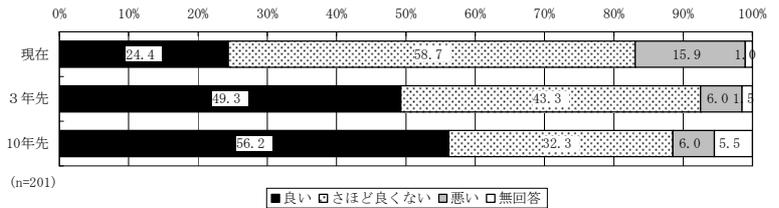


3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【環境ビジネス C (資源有効利用)】

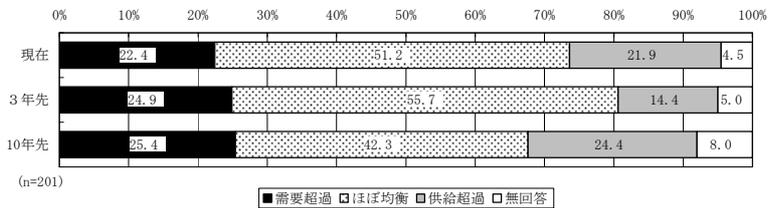
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	201	49	118	32	2
現在	100.0	24.4	58.7	15.9	1.0
3年先	201	99	87	12	3
3年先	100.0	49.3	43.3	6.0	1.5
10年先	201	113	65	12	11
10年先	100.0	56.2	32.3	6.0	5.5



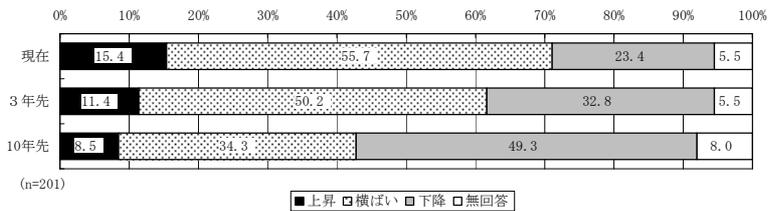
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	201	45	103	44	9
現在	100.0	22.4	51.2	21.9	4.5
3年先	201	50	112	29	10
3年先	100.0	24.9	55.7	14.4	5.0
10年先	201	51	85	49	16
10年先	100.0	25.4	42.3	24.4	8.0



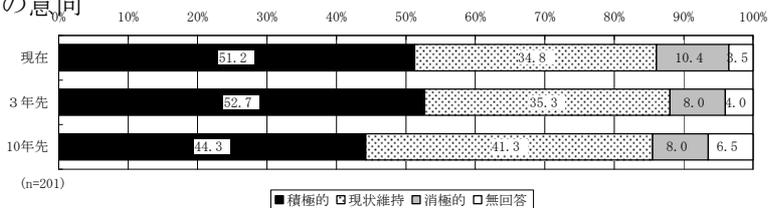
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	201	31	112	47	11
現在	100.0	15.4	55.7	23.4	5.5
3年先	201	23	101	66	11
3年先	100.0	11.4	50.2	32.8	5.5
10年先	201	17	69	99	16
10年先	100.0	8.5	34.3	49.3	8.0



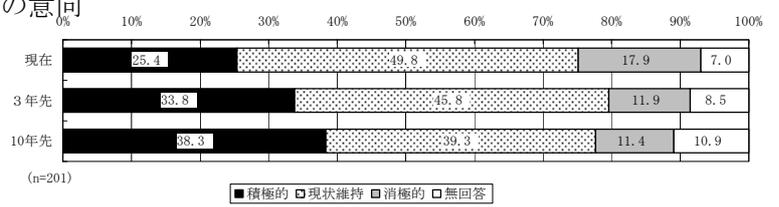
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	201	103	70	21	7
現在	100.0	51.2	34.8	10.4	3.5
3年先	201	106	71	16	8
3年先	100.0	52.7	35.3	8.0	4.0
10年先	201	89	83	16	13
10年先	100.0	44.3	41.3	8.0	6.5



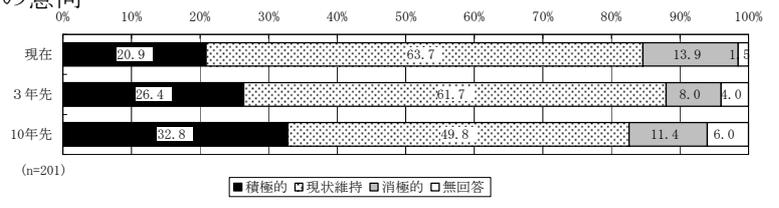
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	201	51	100	36	14
現在	100.0	25.4	49.8	17.9	7.0
3年先	201	68	92	24	17
3年先	100.0	33.8	45.8	11.9	8.5
10年先	201	77	79	23	22
10年先	100.0	38.3	39.3	11.4	10.9



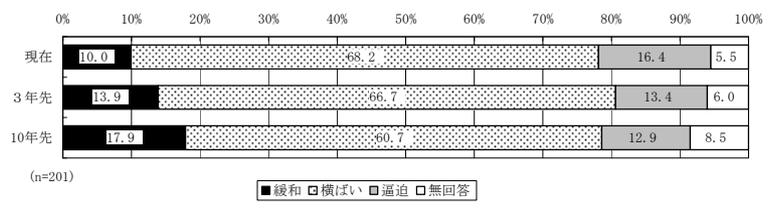
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	201	42	128	28	3
現在	100.0	20.9	63.7	13.9	1.5
3年先	201	53	124	16	8
3年先	100.0	26.4	61.7	8.0	4.0
10年先	201	66	100	23	12
10年先	100.0	32.8	49.8	11.4	6.0



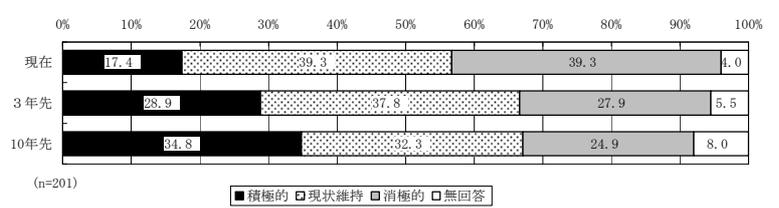
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	201	20	137	33	11
現在	100.0	10.0	68.2	16.4	5.5
3年先	201	28	134	27	12
3年先	100.0	13.9	66.7	13.4	6.0
10年先	201	36	122	26	17
10年先	100.0	17.9	60.7	12.9	8.5



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	201	35	79	79	8
現在	100.0	17.4	39.3	39.3	4.0
3年先	201	58	76	56	11
3年先	100.0	28.9	37.8	27.9	5.5
10年先	201	70	65	50	16
10年先	100.0	34.8	32.3	24.9	8.0



3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【家】：【省エネルギー型家電】

【車】：【環境配慮型自動車】

【給】：【高効率給湯器】

【太】：【太陽光発電システム】

(1) 当該環境ビジネスの業況

【家】 現在は「さほど良くない」が最も多い。「良い」が増加傾向にあり、10年先には最も多い。

【車】 現在から10年先まで「良い」が最も多い。

【給】 現在は「良い」と「さほど良くない」が40%程度で最も多いが、3年先から10年先は「良い」が最も多い。

【太】 現在は「さほど良くない」が最も多い。3年先から10年先は「良い」が最も多い。

(2) 当該環境ビジネスの国内需給

【家】 現在から10年先まで「ほぼ均衡」が最も多い。10年先には「供給超過」が増える。

【車】 現在から10年先まで「ほぼ均衡」が最も多い。10年先には「需要超過」「供給超過」とともに増える。

【給】 現在から10年先まで「ほぼ均衡」が最も多い。

【太】 現在は「需要超過」が最も多い。3年先から10年先は「ほぼ均衡」が最も多い。

(3) 当該環境ビジネスの提供価格

【家】 現在は「横ばい」が最も多いが、「下降」が増加傾向にあり、3年先から10年先は最も多い。

【車】 現在は「横ばい」と「下降」が同じ割合で最も多い。3年先には「横ばい」が最も多くなるが、10年先には「下降」が最も多い。

【給】 現在から10年先までは「横ばい」が最も多い。10年先に「下降」が増加する。

【太】 現在は「横ばい」が最も多いが、「下降」は増加傾向にあり、3年先から10年先は最も多い。

(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

【家】 現在から10年先まで「積極的」が最も多い。

【車】 現在から3年先まで「積極的」が最も多いが、10年先には「現状維持」が増えて「積極的」と「現状維持」が同じ割合になる。

【給】 現在から3年先まで「積極的」が最も多いが、10年先には「現状維持」が増えて最も多い。

【太】 現在は「積極的」が最も多いが減少傾向にあり、10年先は「現状維持」が増えて最も多い。

(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

【家】 現在は「現状維持」が最も多いが、「積極的」が増加傾向にあり、3年先から10年先では「積極的」が最も多い。

【車】 現在は「現状維持」が最も多いが、3年先から10年先では「積極的」が最も多い。

【給】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。

【太】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。

(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

【家】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多く、「積極的」が徐々に増加する傾向。

【車】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多く、3年先から「消極的」の回答がなくなる。

【給】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。

【太】 現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。

(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

【家】現在から10年先まで「横ばい」が最も多く、傾向は変わらない。

【車】現在から10年先まで「横ばい」が最も多い。

【給】現在から10年先まで「横ばい」が最も多く、「緩和」は回答がない。

【太】現在から10年先まで「横ばい」が最も多く、傾向はほぼ変わらない。

(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

【家】現在から3年先まで「現状維持」が最も多いが、「積極的」が増加傾向にあり10年先には最も多い。

【車】現在は「積極的」が最も多く、3年先は「現状維持」が最も多くなる。10年先までには「積極的」が最も多くなる。

【給】現在から10年先まで「現状維持」が最も多い。

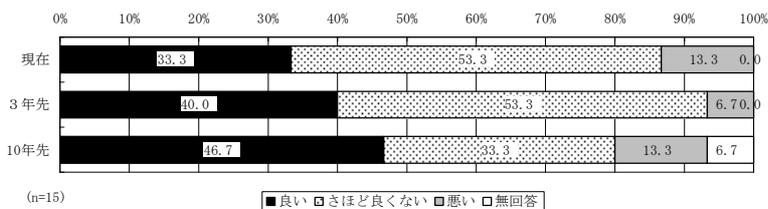
【太】現在は「消極的」が最も多いが、3年先には減少して「現状維持」が最も多くなり、10年先には「積極的」と「現状維持」が30%程度で並んで「消極的」よりも多い。

3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【省エネルギー型家電】

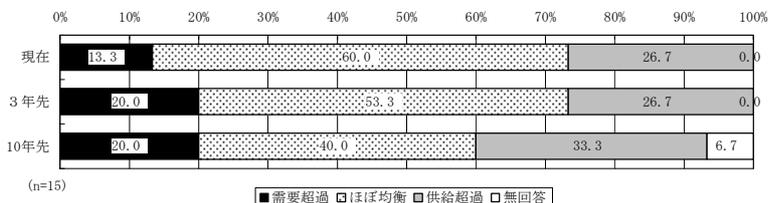
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど 良くない	悪い	無回答
現在	15	5	8	2	-
3年前	15	6	8	1	-
10年前	15	7	5	2	1
	100.0	33.3	53.3	13.3	0.0
	100.0	40.0	53.3	6.7	0.0
	100.0	46.7	33.3	13.3	6.7



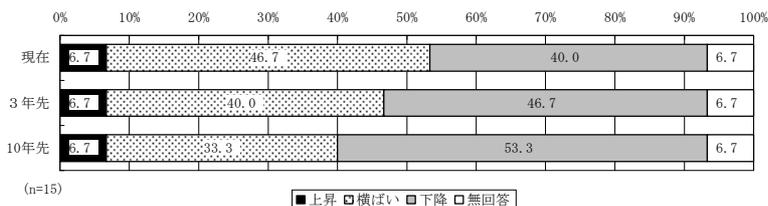
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	15	2	9	4	-
3年前	15	3	8	4	-
10年前	15	3	6	5	1
	100.0	13.3	60.0	26.7	0.0
	100.0	20.0	53.3	26.7	0.0
	100.0	20.0	40.0	33.3	6.7



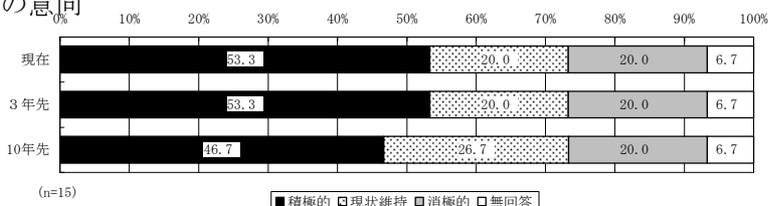
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	15	1	7	6	1
3年前	15	1	6	7	1
10年前	15	1	5	8	1
	100.0	6.7	46.7	40.0	6.7
	100.0	6.7	40.0	46.7	6.7
	100.0	6.7	33.3	53.3	6.7



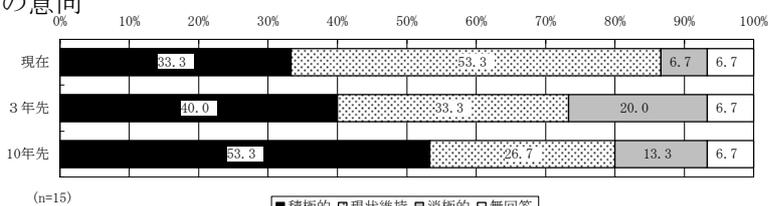
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	15	8	3	3	1
3年前	15	8	3	3	1
10年前	15	7	4	3	1
	100.0	53.3	20.0	20.0	6.7
	100.0	53.3	20.0	20.0	6.7
	100.0	46.7	26.7	20.0	6.7



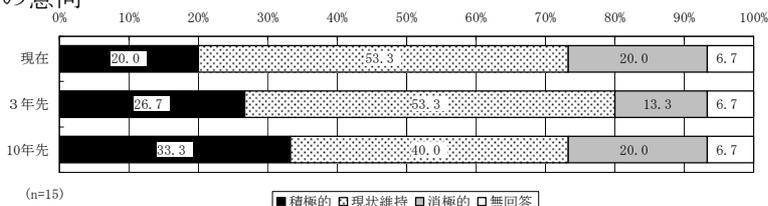
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	15	5	8	1	1
3年前	15	6	5	3	1
10年前	15	8	4	2	1
	100.0	33.3	53.3	6.7	6.7
	100.0	40.0	33.3	20.0	6.7
	100.0	53.3	26.7	13.3	6.7



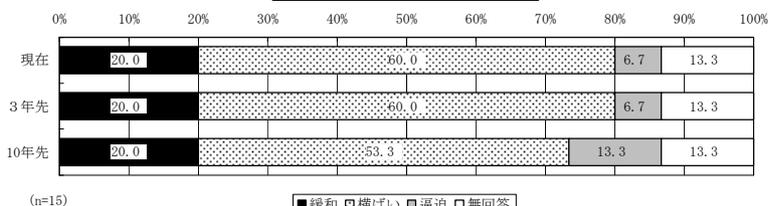
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	15	3	8	3	1
3年前	15	4	8	2	1
10年前	15	5	6	3	1
	100.0	20.0	53.3	20.0	6.7
	100.0	26.7	53.3	13.3	6.7
	100.0	33.3	40.0	20.0	6.7



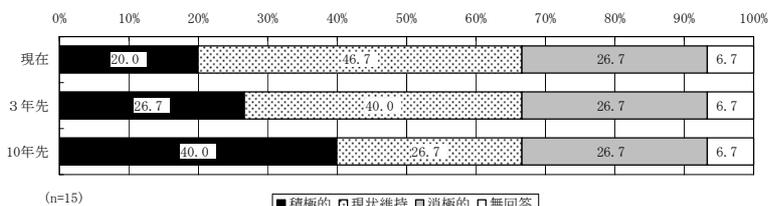
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	15	3	9	1	2
3年前	15	3	9	1	2
10年前	15	3	8	2	2
	100.0	20.0	60.0	6.7	13.3
	100.0	20.0	60.0	6.7	13.3
	100.0	20.0	53.3	13.3	13.3



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	15	3	7	4	1
3年前	15	4	6	4	1
10年前	15	6	4	4	1
	100.0	20.0	46.7	26.7	6.7
	100.0	26.7	40.0	26.7	6.7
	100.0	40.0	26.7	26.7	6.7

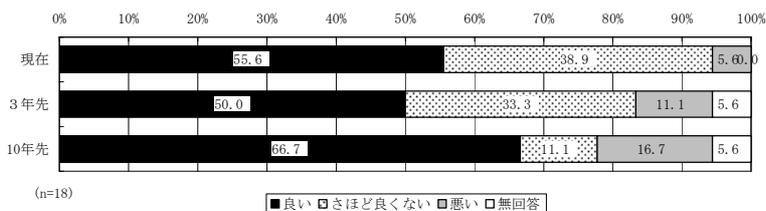


3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【環境配慮型自動車】

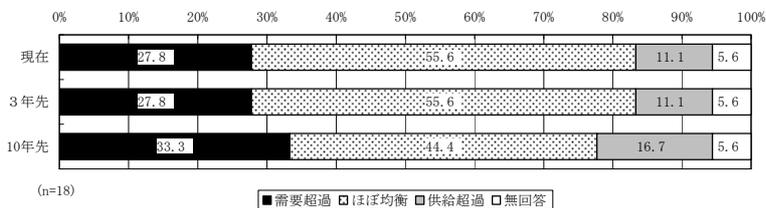
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど良くない	悪い	無回答
現在	18	10	7	1	-
現在	100.0	55.6	38.9	5.6	-
3年前	18	9	6	2	1
3年前	100.0	50.0	33.3	11.1	5.6
10年前	18	12	2	3	1
10年前	100.0	66.7	11.1	16.7	5.6



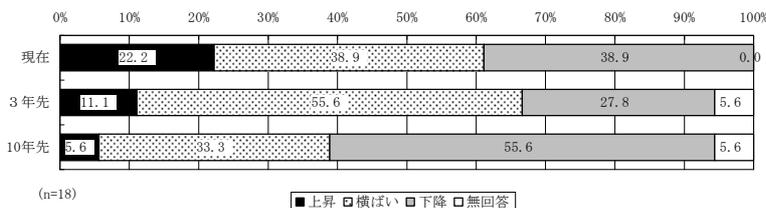
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均衡	供給超過	無回答
現在	18	5	10	2	1
現在	100.0	27.8	55.6	11.1	5.6
3年前	18	5	10	2	1
3年前	100.0	27.8	55.6	11.1	5.6
10年前	18	6	8	3	1
10年前	100.0	33.3	44.4	16.7	5.6



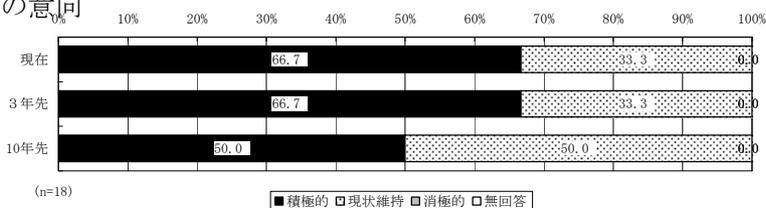
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	18	4	7	7	-
現在	100.0	22.2	38.9	38.9	-
3年前	18	2	10	5	1
3年前	100.0	11.1	55.6	27.8	5.6
10年前	18	1	6	10	1
10年前	100.0	5.6	33.3	55.6	5.6



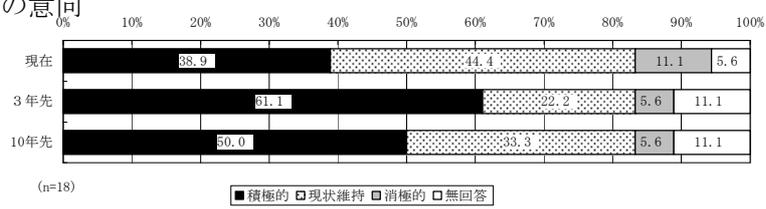
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	18	12	6	-	-
現在	100.0	66.7	33.3	-	-
3年前	18	12	6	-	-
3年前	100.0	66.7	33.3	-	-
10年前	18	9	9	-	-
10年前	100.0	50.0	50.0	-	-



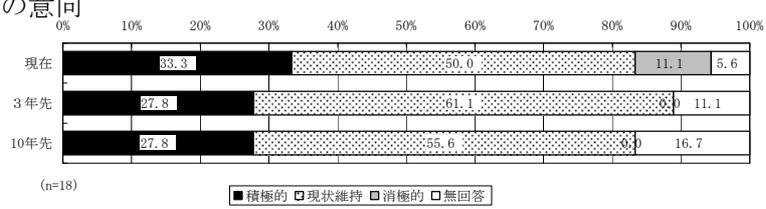
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	18	7	8	2	1
現在	100.0	38.9	44.4	11.1	5.6
3年前	18	11	4	1	2
3年前	100.0	61.1	22.2	5.6	11.1
10年前	18	9	6	1	2
10年前	100.0	50.0	33.3	5.6	11.1



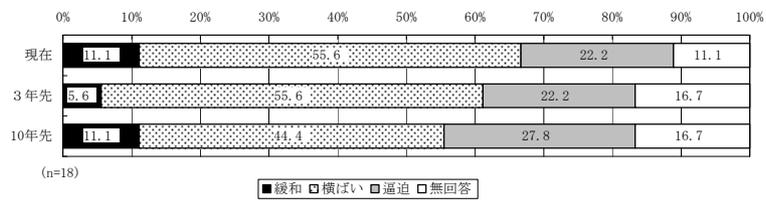
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	18	6	9	2	1
現在	100.0	33.3	50.0	11.1	5.6
3年前	18	5	11	-	2
3年前	100.0	27.8	61.1	-	11.1
10年前	18	5	10	-	3
10年前	100.0	27.8	55.6	-	16.7



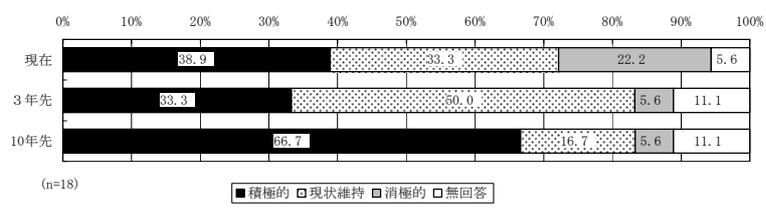
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	18	2	10	4	2
現在	100.0	11.1	55.6	22.2	11.1
3年前	18	1	10	4	3
3年前	100.0	5.6	55.6	22.2	16.7
10年前	18	2	8	5	3
10年前	100.0	11.1	44.4	27.8	16.7



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	18	7	6	4	1
現在	100.0	38.9	33.3	22.2	5.6
3年前	18	6	9	1	2
3年前	100.0	33.3	50.0	5.6	11.1
10年前	18	12	3	1	2
10年前	100.0	66.7	16.7	5.6	11.1

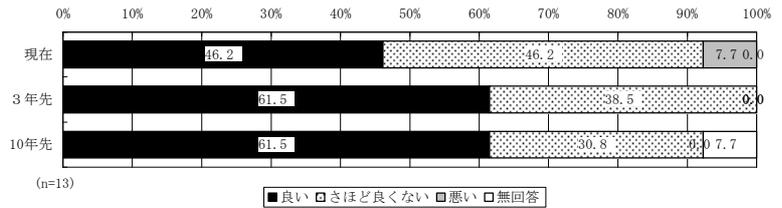


3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【高効率給湯器】

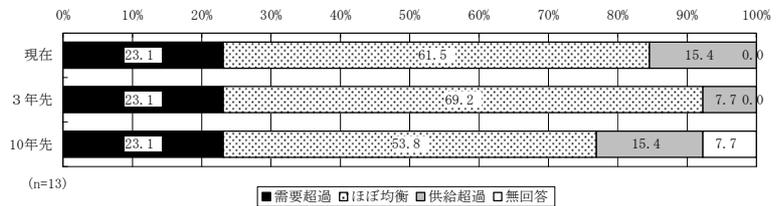
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど 良くない	悪い	無回答
現在	13	6	6	1	-
3年前	13	8	5	-	-
10年前	13	8	4	-	1
	100.0	46.2	38.5	7.7	-
	100.0	61.5	30.8	-	7.7



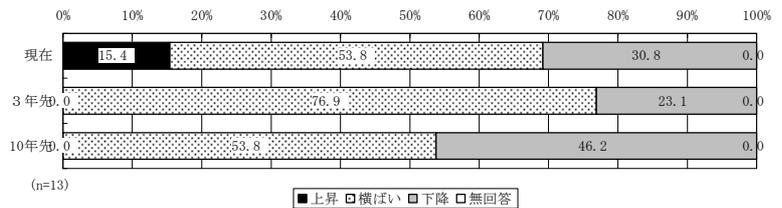
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均 衡	供給超過	無回答
現在	13	3	8	2	-
3年前	13	3	9	1	-
10年前	13	3	7	2	1
	100.0	23.1	61.5	15.4	-
	100.0	23.1	69.2	7.7	-



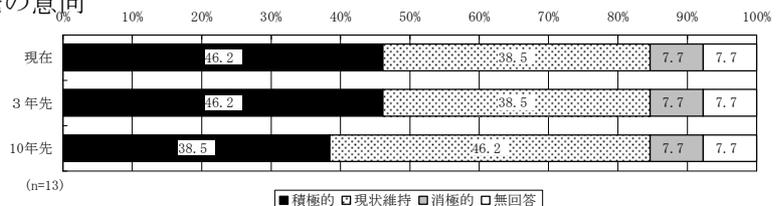
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	13	2	7	4	-
3年前	13	-	10	3	-
10年前	13	-	7	6	-
	100.0	15.4	53.8	30.8	-
	100.0	-	76.9	23.1	-



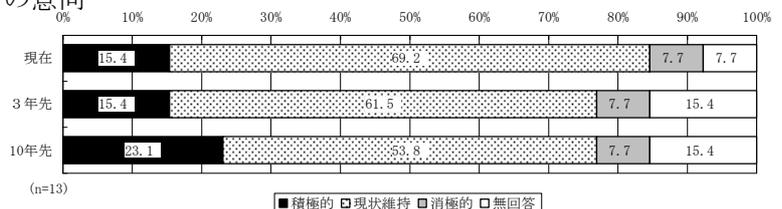
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	13	6	5	1	1
3年前	13	6	5	1	1
10年前	13	5	6	1	1
	100.0	46.2	38.5	7.7	7.7
	100.0	46.2	38.5	7.7	7.7



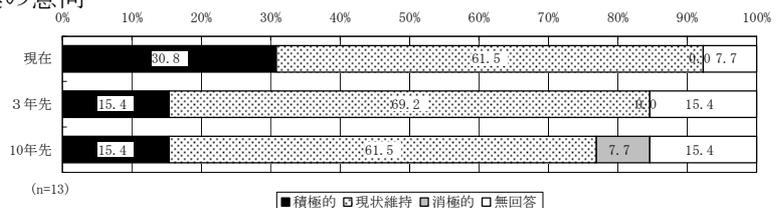
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	13	2	9	1	1
3年前	13	2	8	1	2
10年前	13	3	7	1	2
	100.0	15.4	69.2	7.7	7.7
	100.0	15.4	61.5	7.7	15.4



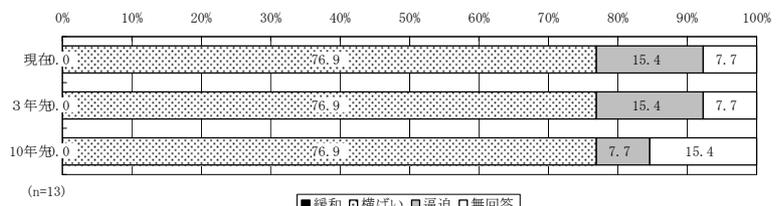
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	13	4	8	-	1
3年前	13	2	9	-	2
10年前	13	2	8	1	2
	100.0	30.8	61.5	-	7.7
	100.0	15.4	69.2	-	15.4



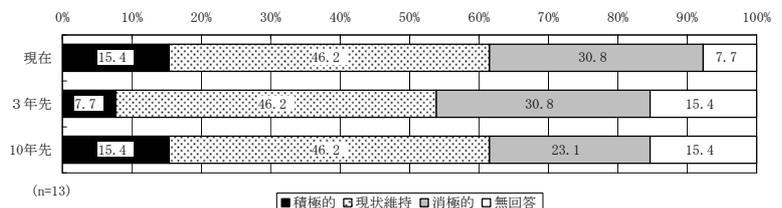
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	13	-	10	2	1
3年前	13	-	10	2	1
10年前	13	-	10	1	2
	100.0	-	76.9	15.4	7.7
	100.0	-	76.9	15.4	7.7



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	13	2	6	4	1
3年前	13	1	6	4	2
10年前	13	2	6	3	2
	100.0	15.4	46.2	30.8	7.7
	100.0	7.7	46.2	30.8	15.4

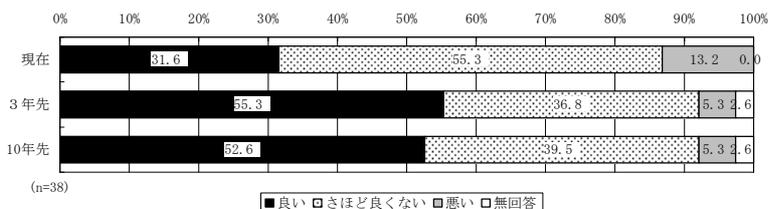


3-4. 3-1. で回答した環境ビジネスについて [単一回答]

【太陽光発電システム】

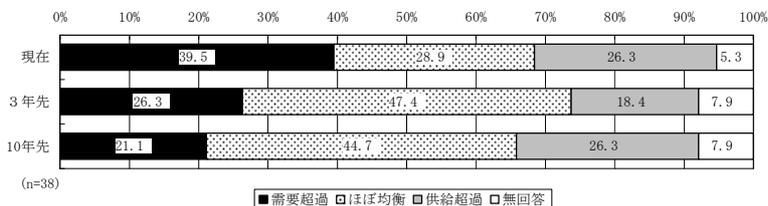
(1) 当該環境ビジネスの業況

	調査数	良い	さほど 良くない	悪い	無回答
現在	38	12	21	5	-
3年前	38	21	14	2	1
10年前	38	20	15	2	1
	100.0	31.6	55.3	13.2	-
	100.0	55.3	36.8	5.3	2.6
	100.0	52.6	39.5	5.3	2.6



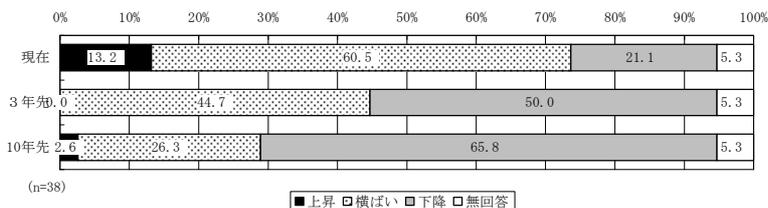
(2) 当該環境ビジネスの国内需給

	調査数	需要超過	ほぼ均 衡	供給超過	無回答
現在	38	15	11	10	2
3年前	38	10	18	7	3
10年前	38	8	17	10	3
	100.0	39.5	28.9	26.3	5.3
	100.0	26.3	47.4	18.4	7.9
	100.0	21.1	44.7	26.3	7.9



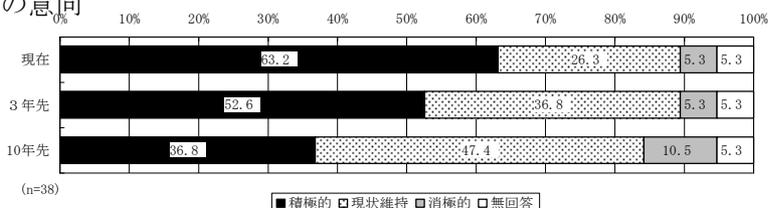
(3) 当該環境ビジネスの提供価格

	調査数	上昇	横ばい	下降	無回答
現在	38	5	23	8	2
3年前	38	-	17	19	2
10年前	38	1	10	25	2
	100.0	13.2	60.5	21.1	5.3
	100.0	-	44.7	50.0	5.3
	100.0	2.6	26.3	65.8	5.3



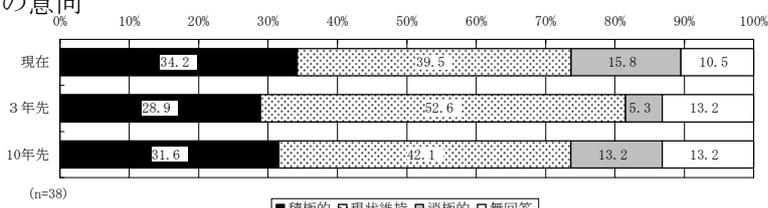
(4) 当該環境ビジネスの今後の研究開発の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	38	24	10	2	2
3年前	38	20	14	2	2
10年前	38	14	18	4	2
	100.0	63.2	26.3	5.3	5.3
	100.0	52.6	36.8	5.3	5.3
	100.0	36.8	47.4	10.5	5.3



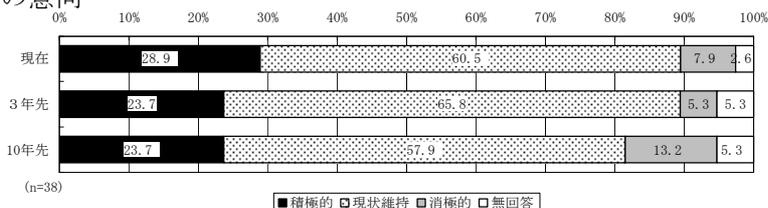
(5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	38	13	15	6	4
3年前	38	11	20	2	5
10年前	38	12	16	5	5
	100.0	34.2	39.5	15.8	10.5
	100.0	28.9	52.6	5.3	13.2
	100.0	31.6	42.1	13.2	13.2



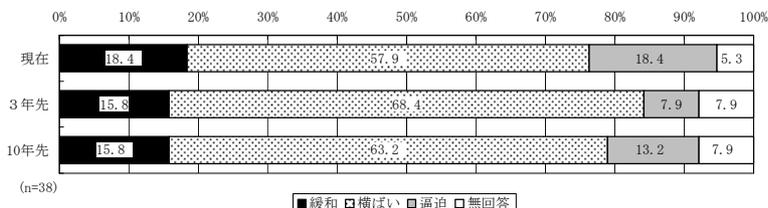
(6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	38	11	23	3	1
3年前	38	9	25	2	2
10年前	38	9	22	5	2
	100.0	28.9	60.5	7.9	2.6
	100.0	23.7	65.8	5.3	5.3
	100.0	23.7	57.9	13.2	5.3



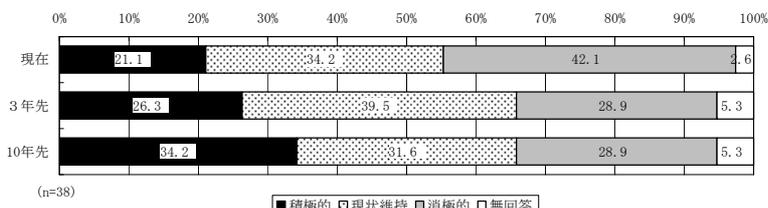
(7) 当該環境ビジネスの資金繰り

	調査数	緩和	横ばい	逼迫	無回答
現在	38	7	22	7	2
3年前	38	6	26	3	3
10年前	38	6	24	5	3
	100.0	18.4	57.9	18.4	5.3
	100.0	15.8	68.4	7.9	7.9
	100.0	15.8	63.2	13.2	7.9



(8) 当該環境ビジネスの海外進出状況

	調査数	積極的	現状維持	消極的	無回答
現在	38	8	13	16	1
3年前	38	10	15	11	2
10年前	38	13	12	11	2
	100.0	21.1	34.2	42.1	2.6
	100.0	26.3	39.5	28.9	5.3
	100.0	34.2	31.6	28.9	5.3



■日銀短観との比較解析結果

環境経済観測試行調査の業況把握の調査項目（3－4）と日銀短観の「判断項目」において比較可能な項目について、日銀短観と同様の集計方法（D I ポイント算出）にて集計し、比較した結果を次頁以降に示す。

1) 当該環境ビジネスの業況【比較可能項目】

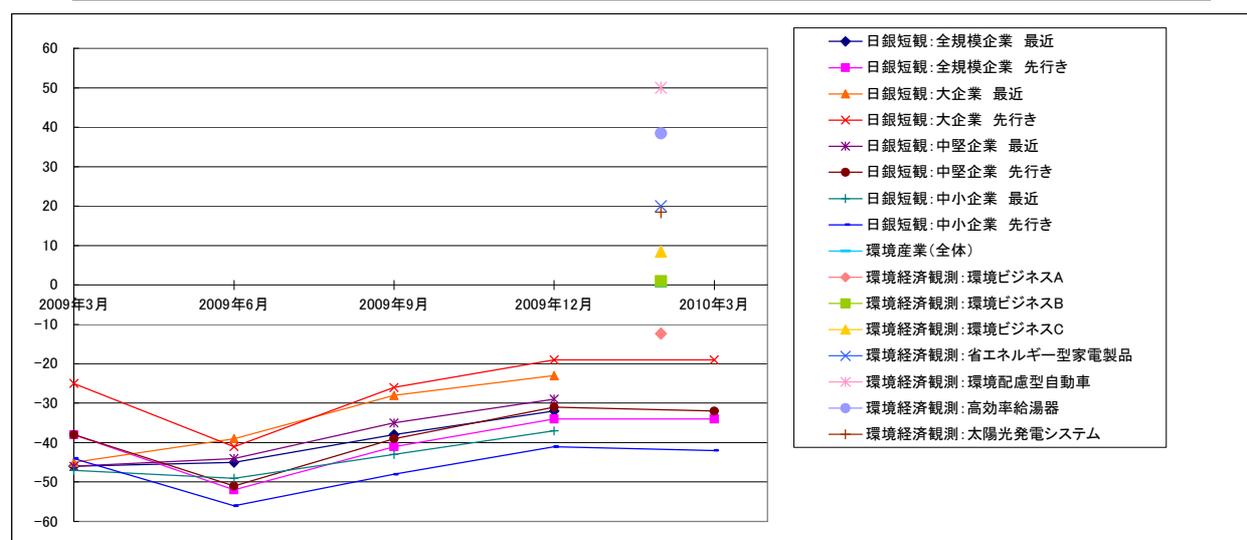
環境ビジネスを現在実施している（実施する予定である）企業全体において、自社の環境ビジネスに係る業況は、DI値で0と、平成21年12月の全ての産業（金融機関を除く。）を対象とした日銀短観の結果に比べ、相対的に良い状態にあると捉えられている。特に省エネルギー型家電製品や環境配慮型自動車などにおいては、DI値が数十ポイントのプラスとなっており好況と捉えられていることがわかる。

<環境経済観測（「良い」－「悪い」）>

	2010年2月	回答数
環境産業（全体） 現在	0	470
環境ビジネスA 現在	-12	162
環境ビジネスB 現在	1	107
環境ビジネスC 現在	8	201
省エネルギー型家電製品 現在	20	15
環境配慮型自動車 現在	50	18
高効率給湯器 現在	38	13
太陽光発電システム 現在	18	38

<日銀短観（「良い」－「悪い」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	-46	-45	-38	-32	
全規模企業 先行き	-38	-52	-41	-34	-34
大企業 最近	-45	-39	-28	-23	
大企業 先行き	-25	-41	-26	-19	-19
中堅企業 最近	-46	-44	-35	-29	
中堅企業 先行き	-38	-51	-39	-31	-32
中小企業 最近	-47	-49	-43	-37	
中小企業 先行き	-44	-56	-48	-41	-42



2) 当該環境ビジネスの国内需給【比較可能項目】

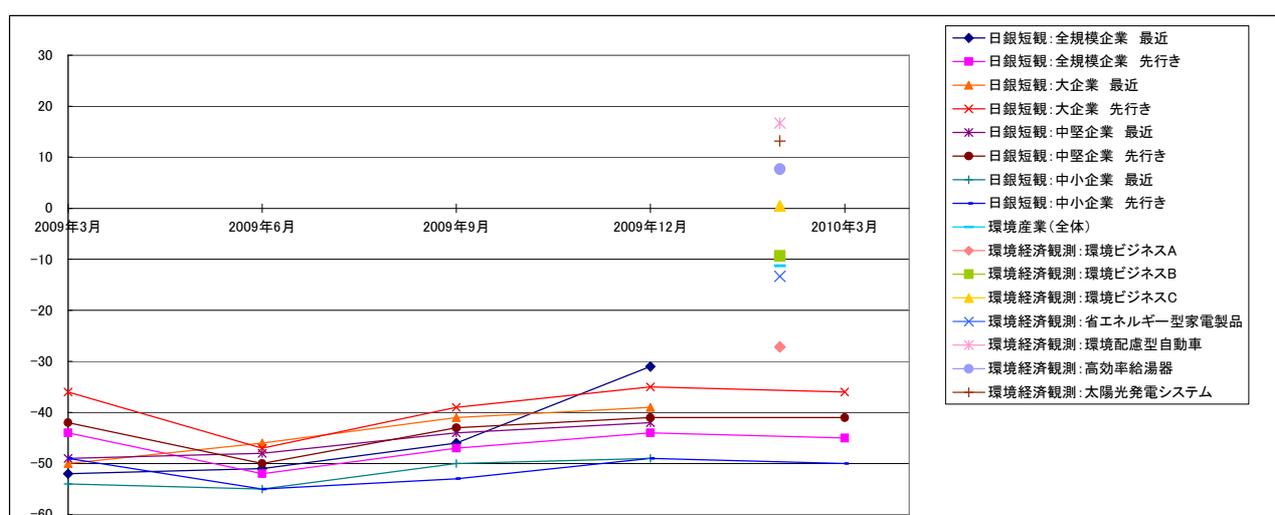
環境産業を現在実施している（実施する予定である）企業全体において、自社の環境産業に係る国内需給は、DI値で-11と、平成21年12月の日銀短観の結果に比べると、同様に供給超過が上回ってはいるが、需給のギャップは相対的に小さくなっていることがわかる。

<環境経済観測（「需要超過」－「供給超過」）>

	2010年2月	回答数
環境産業（全体） 現在	-11	470
環境ビジネスA 現在	-27	162
環境ビジネスB 現在	-9	107
環境ビジネスC 現在	0	201
省エネルギー型家電製品 現在	-13	15
環境配慮型自動車 現在	17	18
高効率給湯器 現在	8	13
太陽光発電システム 現在	13	38

<日銀短観（「需要超過」－「供給超過」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	-52	-51	-46	-31	
全規模企業 先行き	-44	-52	-47	-44	-45
大企業 最近	-50	-46	-41	-39	
大企業 先行き	-36	-47	-39	-35	-36
中堅企業 最近	-49	-48	-44	-42	
中堅企業 先行き	-42	-50	-43	-41	-41
中小企業 最近	-54	-55	-50	-49	
中小企業 先行き	-49	-55	-53	-49	-50



3) 当該環境ビジネスの提供価格【比較可能項目】

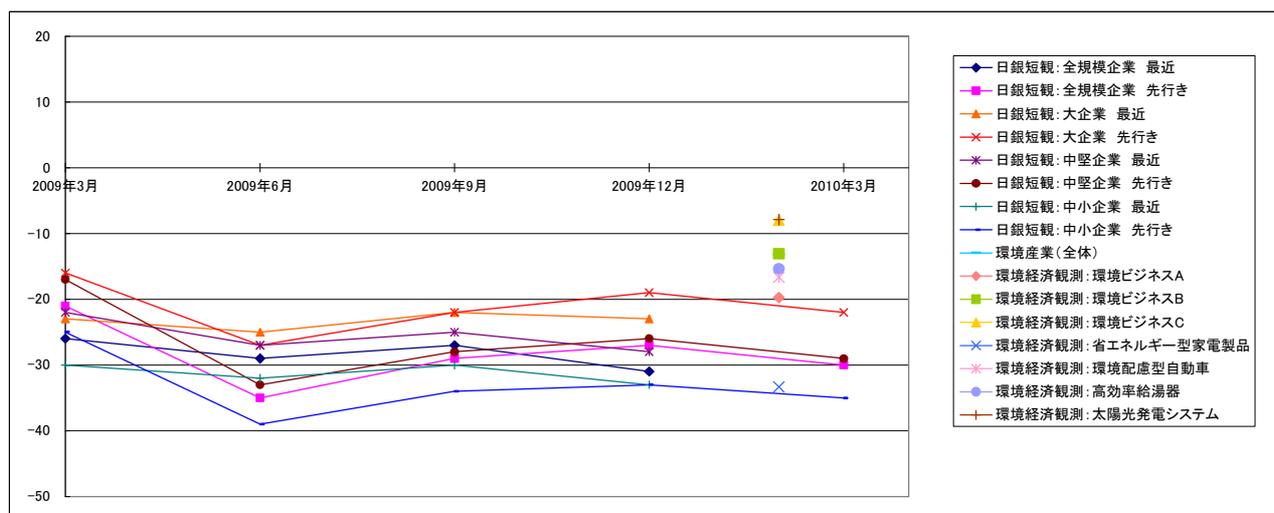
環境産業を現在実施している（実施する予定である）企業全体において、自社の環境産業に係る提供価格は、DI 値で-13 と、平成 21 年 12 月の日銀短観の結果に比べ、価格下落割合は下していることがわかる。

<環境経済観測（「上昇」－「下降」）>

	2010年2月	回答数
環境産業（全体） 現在	-13	470
環境ビジネスA 現在	-20	162
環境ビジネスB 現在	-13	107
環境ビジネスC 現在	-8	201
省エネルギー型家電製品 現在	-33	15
環境配慮型自動車 現在	-17	18
高効率給湯器 現在	-15	13
太陽光発電システム 現在	-8	38

<日銀短観（「上昇」－「下落」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	-26	-29	-27	-31	
全規模企業 先行き	-21	-35	-29	-27	-30
大企業 最近	-23	-25	-22	-23	
大企業 先行き	-16	-27	-22	-19	-22
中堅企業 最近	-22	-27	-25	-28	
中堅企業 先行き	-17	-33	-28	-26	-29
中小企業 最近	-30	-32	-30	-33	
中小企業 先行き	-25	-39	-34	-33	-35



以下の資金繰りについては、環境経済観測試行調査結果と日銀短観を比較することが可能であるが、日銀短観において、本項目の先行きのデータは把握されておらず、日銀短観の2010年3月時点の数値が把握できなかったため、参考までに比較を行った。

4) 当該環境ビジネスの資金繰り【参考比較】

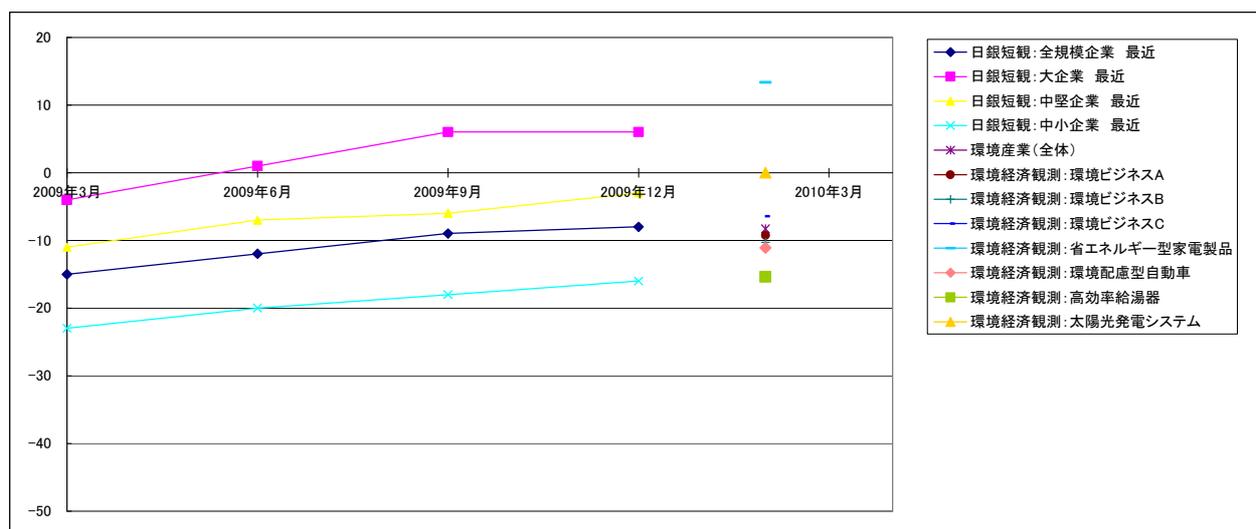
DIポイントを参考までに比較すると以下の通り。

<環境経済観測（「緩和」－「逼迫」）>

	2010年2月	n数
環境産業（全体） 現在	-8	470
環境ビジネスA 現在	-9	162
環境ビジネスB 現在	-10	107
環境ビジネスC 現在	-6	201
省エネルギー型家電製品 現在	13	15
環境配慮型自動車 現在	-11	18
高効率給湯器 現在	-15	13
太陽光発電システム 現在	0	38

<日銀短観（「楽である」－「苦しい」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月
全規模企業 最近	-15	-12	-9	-8
大企業 最近	-4	1	6	6
中堅企業 最近	-11	-7	-6	-3
中小企業 最近	-23	-20	-18	-16



以下は、環境経済観測試行調査結果と日銀短観を比較することは難しい項目であるが、参考までに比較を行ったものである。

5) 当該環境ビジネスの今後の設備投資の意向【参考比較】

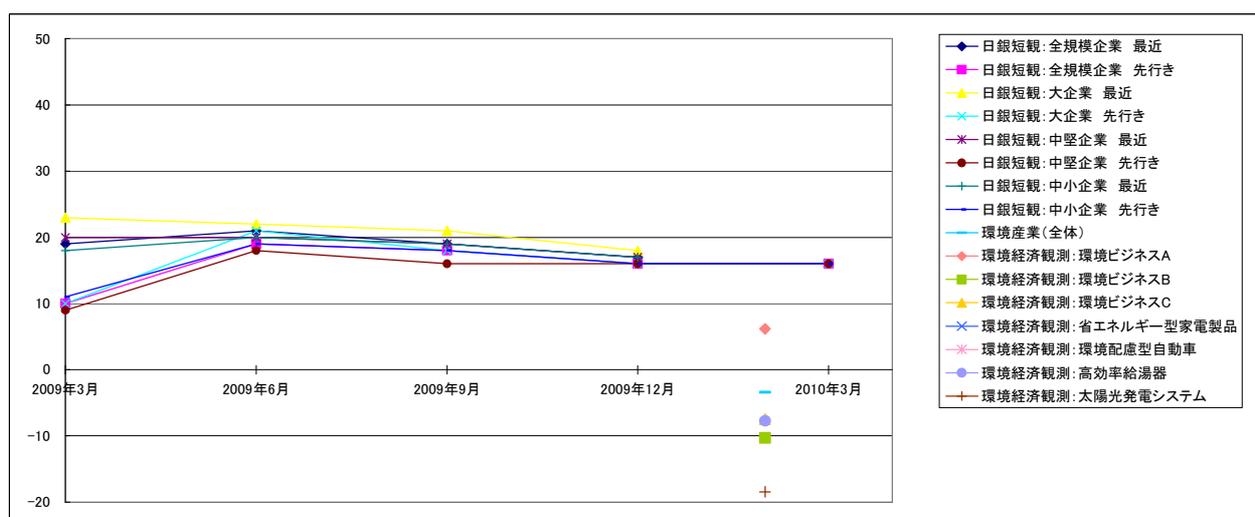
DIポイントを参考までに比較すると以下の通り。

<環境経済観測（「消極的」－「積極的」）>

	2010年2月	n数
環境産業（全体） 現在	-3	470
環境ビジネスA 現在	6	162
環境ビジネスB 現在	-10	107
環境ビジネスC 現在	-7	201
省エネルギー型家電製品 現在	-27	15
環境配慮型自動車 現在	-28	18
高効率給湯器 現在	-8	13
太陽光発電システム 現在	-18	38

<日銀短観（「過剰」－「不足」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	19	21	19	17	
全規模企業 先行き	10	19	18	16	16
大企業 最近	23	22	21	18	
大企業 先行き	10	21	18	16	16
中堅企業 最近	20	20	19	17	
中堅企業 先行き	9	18	16	16	16
中小企業 最近	18	20	19	17	
中小企業 先行き	11	19	18	16	16



6) 当該環境ビジネスの今後の人員調達の意向【参考比較】

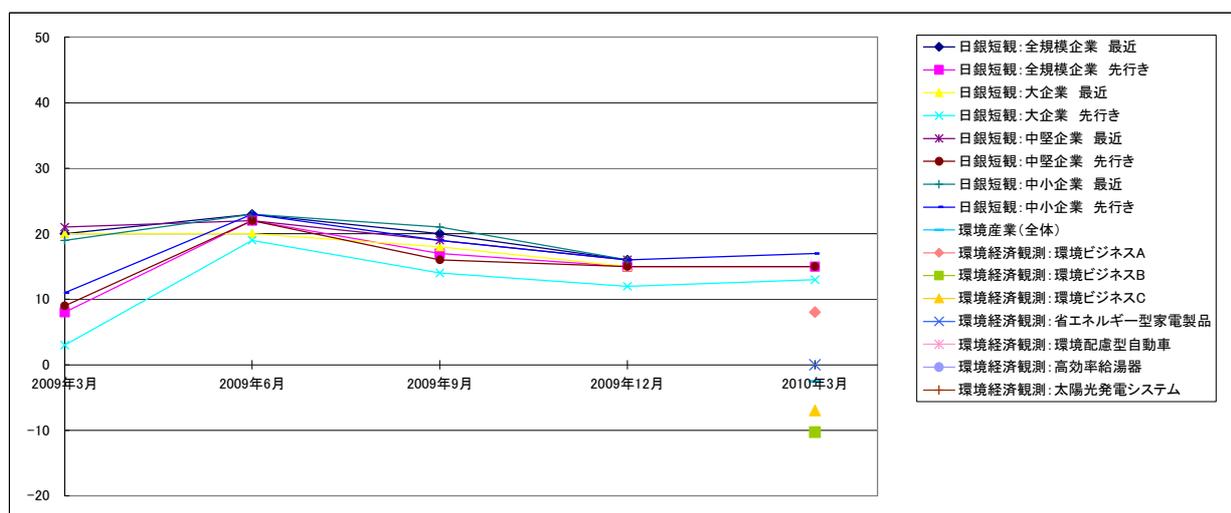
DIポイントを参考までに比較すると以下の通り。

<環境経済観測（「消極的」－「積極的」）>

	2010年2月	n数
環境産業（全体） 現在	-3	470
環境ビジネスA 現在	8	162
環境ビジネスB 現在	-10	107
環境ビジネスC 現在	-7	201
省エネルギー型家電製品 現在	0	15
環境配慮型自動車 現在	-22	18
高効率給湯器 現在	-31	13
太陽光発電システム 現在	-21	38

<日銀短観（「過剰」－「不足」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	20	23	20	16	
全規模企業 先行き	8	22	17	15	15
大企業 最近	20	20	18	15	
大企業 先行き	3	19	14	12	13
中堅企業 最近	21	22	19	16	
中堅企業 先行き	9	22	16	15	15
中小企業 最近	19	23	21	16	
中小企業 先行き	11	23	19	16	17



7) 当該環境ビジネスの海外進出状況【参考比較】

DIポイントを参考までに比較すると以下の通り。

<環境経済観測（「積極的」－「消極的」）>

	2010年2月	n数
環境産業（全体） 現在	-21	470
環境ビジネスA 現在	-27	162
環境ビジネスB 現在	-13	107
環境ビジネスC 現在	-22	201
省エネルギー型家電製品 現在	-7	15
環境配慮型自動車 現在	17	18
高効率給湯器 現在	-15	13
太陽光発電システム 現在	-21	38

<日銀短観（「需要超過」－「供給超過」）>

	2009年3月	2009年6月	2009年9月	2009年12月	2010年3月
全規模企業 最近	-49	-44	-34	-30	
全規模企業 先行き	-36	-46	-37	-31	-28
大企業 最近	-51	-41	-31	-26	
大企業 先行き	-32	-44	-32	-25	-23
中堅企業 最近	-47	-41	-31	-26	
中堅企業 先行き	-34	-43	-35	-27	-25
中小企業 最近	-49	-48	-40	-35	
中小企業 先行き	-38	-47	-43	-37	-34

